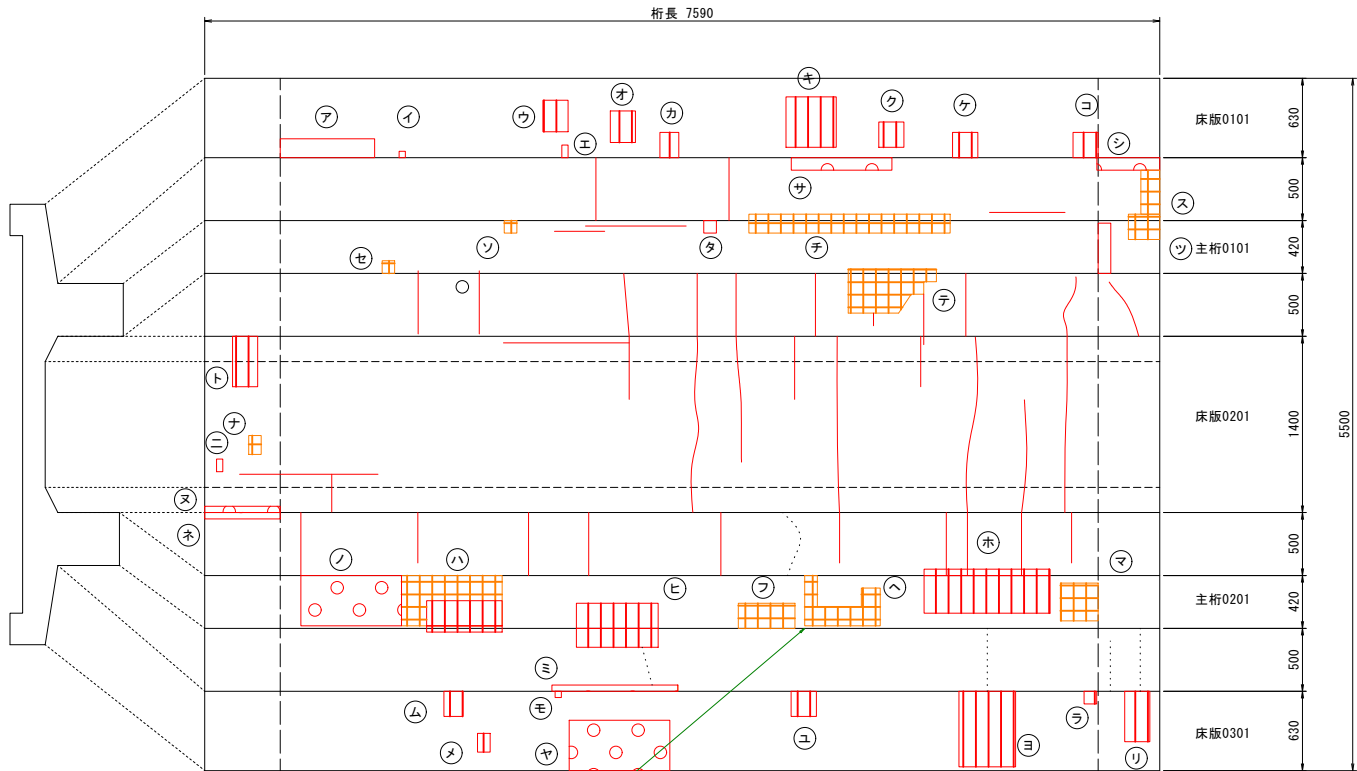


(上部工)RC部材補修詳細図(その1) S=1:30

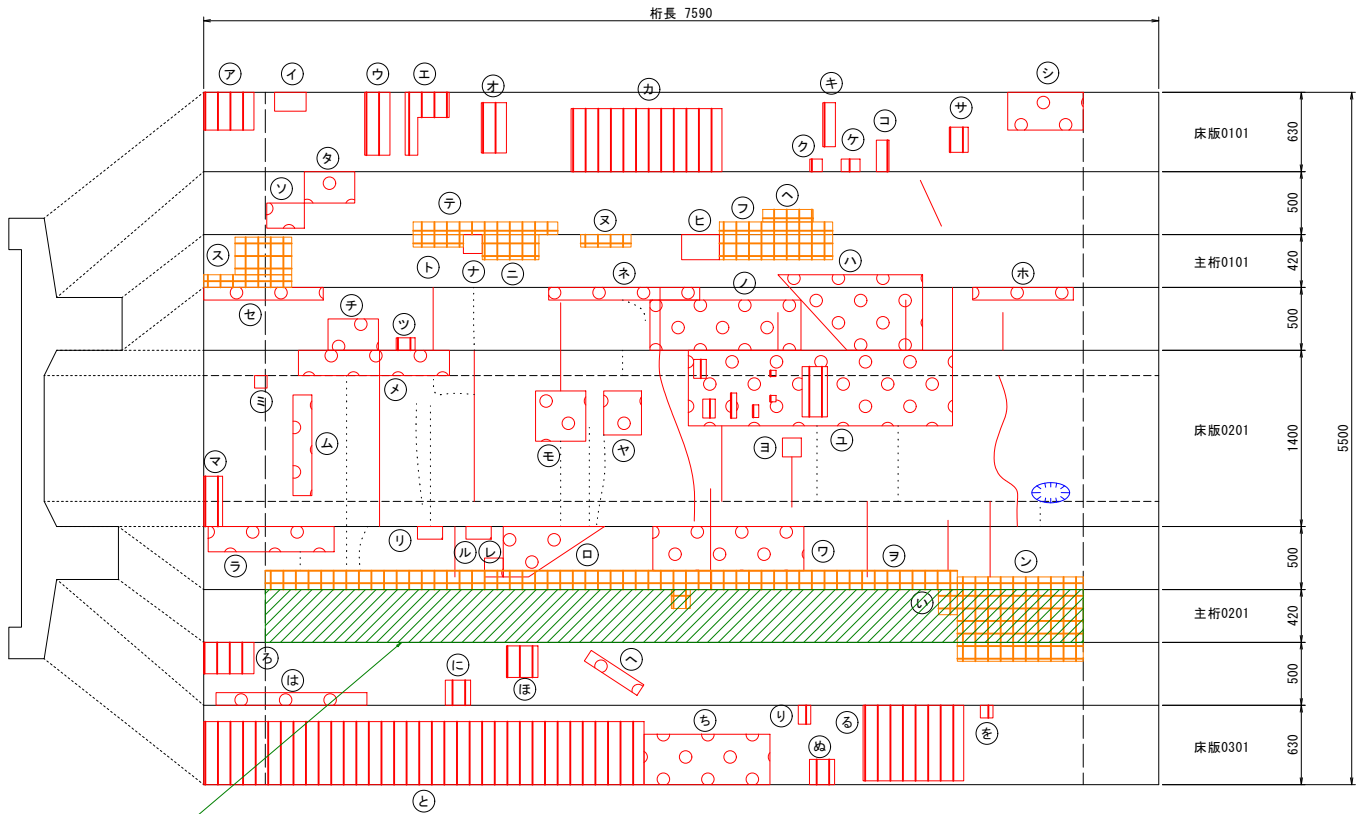
断面修復工

(第1径間)桁下面



部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]
床版0101	ア	剥離	700	150	30	0.1050	0.0032
床版0101	イ	豆板	50	50	30	0.0025	0.0001
床版0101	ウ	鉄筋露出	250	200	100	0.0500	0.0050
床版0101	エ	鉄筋露出	50	100	100	0.0050	0.0005
床版0101	オ	鉄筋露出	200	250	100	0.0500	0.0050
床版0101	カ	鉄筋露出	150	200	100	0.0300	0.0030
床版0101	キ	鉄筋露出	400	400	100	0.1600	0.0160
床版0101	ク	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
床版0101	ケ	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
床版0101	コ	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
主桁0101	サ	豆板	800	100	30	0.0800	0.0024
主桁0101	シ	豆板	500	100	30	0.0500	0.0015
主桁0101	ス	うき	150	350	100	0.0525	0.0053
主桁0101	セ	うき	100	100	100	0.0100	0.0010
主桁0101	ソ	うき	100	100	100	0.0100	0.0010
主桁0101	タ	剥離	100	100	30	0.0100	0.0003
主桁0101	チ	うき	150	1600	30	0.2400	0.0072
主桁0101	ツ	うき	200	250	100	0.0500	0.0050
主桁0101	テ	うき	700	350	100	0.2450	0.0245
床版0201	ト	鉄筋露出	200	400	100	0.0800	0.0080
床版0201	ナ	うき	150	100	100	0.0150	0.0015
床版0201	ニ	鉄筋露出	150	50	100	0.0075	0.0008
床版0201	ヌ	豆板	50	600	30	0.0300	0.0009
主桁0201	ネ	豆板	50	600	30	0.0300	0.0009
主桁0201	ノ	豆板	400	800	30	0.3200	0.0096
主桁0201	ハ	うき・鉄筋露出	400	800	100	0.3200	0.0320
主桁0201	ヒ	鉄筋露出	350	600	100	0.2100	0.0210
主桁0201	フ	うき	450	200	100	0.0900	0.0090
主桁0201	ホ	鉄筋露出	1000	300	100	0.3000	0.0300
主桁0201	マ	うき	300	300	100	0.0900	0.0090
主桁0201	ミ	豆板	1000	50	30	0.0500	0.0015
主桁0201	ム	鉄筋露出	150	200	100	0.0300	0.0030
床版0301	メ	鉄筋露出	100	150	100	0.0150	0.0015
床版0301	モ	鉄筋露出	50	50	100	0.0025	0.0003
床版0301	ヤ	豆板	800	400	30	0.3200	0.0096
床版0301	ユ	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
床版0301	ヨ	鉄筋露出	450	600	100	0.2700	0.0270
床版0301	ラ	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
床版0301	リ	鉄筋露出	200	400	100	0.0800	0.0080

(第2径間)桁下面



既設補修材撤去 V=0.4095m3
6.500x0.420x0.150
(△は補修材のうき)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]
床版0101	ア	鉄筋露出	300	400	100	0.1200	0.0120
床版0101	イ	剥離	250	150	30	0.0225	0.0011
床版0101	ウ	鉄筋露出	500	200	100	0.1000	0.0100
床版0101	エ	鉄筋露出	500	350	100	0.1750	0.0175
床版0101	オ	鉄筋露出	400	200	100	0.0800	0.0080
床版0101	カ	鉄筋露出	1200	500	100	0.6000	0.0600
床版0101	キ	鉄筋露出	100	350	100	0.0350	0.0035
床版0101	ク	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
床版0101	ケ	鉄筋露出	150	100	100	0.0150	0.0015
床版0101	コ	鉄筋露出	100	250	100	0.0250	0.0025
床版0101	サ	鉄筋露出	150	200	100	0.0300	0.0030
床版0101	シ	豆板	950	100	30	0.0950	0.0029
主桁0101	ス	うき	700	400	100	0.2800	0.0280
主桁0101	セ	豆板	100	100	30	0.0100	0.0003
主桁0101	ソ	豆板	300	200	30	0.0600	0.0018
主桁0101	タ	豆板	400	250	30	0.1000	0.0030
主桁0101	チ	豆板	400	250	30	0.1000	0.0030
主桁0101	ツ	鉄筋露出	150	100	100	0.0150	0.0015
主桁0101	テ	うき	1150	100	100	0.1150	0.0115
主桁0101	ト	うき	400	100	100	0.0400	0.0040
主桁0101	ナ	剥離	150	150	30	0.0225	0.0007
主桁0101	ニ	うき	450	200	100	0.0900	0.0090
主桁0101	ヌ	うき	400	100	100	0.0400	0.0040
主桁0101	ネ	豆板	1200	100	30	0.1200	0.0036
主桁0101	ノ	豆板	1200	400	30	0.4800	0.0144
主桁0101	ハ	豆板	600	880	30	0.5280	0.0158
主桁0101	ヒ	剥離	300	200	30	0.0600	0.0018
主桁0101	フ	うき	900	300	100	0.2700	0.0270
主桁0101	ホ	うき	400	100	100	0.0400	0.0040
主桁0101	マ	豆板	800	100	30	0.0800	0.0024
床版0201	ミ	鉄筋露出	150	400	100	0.0600	0.0060
床版0201	ム	剥離	100	100	30	0.0100	0.0003
床版0201	メ	豆板	150	800	30	0.1200	0.0036
床版0201	モ	豆板	1200	200	30	0.2400	0.0072
床版0201	ヤ	豆板	400	400	30	0.1600	0.0048
床版0201	ユ	豆板	300	350	30	0.1050	0.0032
床版0201	ヨ	鉄筋露出	2100	600	100	1.2600	0.1260
主桁0201	ラ	剥離	150	150	30	0.0225	0.0007
主桁0201	リ	豆板	1000	200	30	0.2000	0.0060
主桁0201	レ	豆板	200	100	30	0.0200	0.0006
主桁0201	ロ	豆板	150	150	30	0.0225	0.0007
主桁0201	ワ	豆板	400	500	30	0.2000	0.0060
主桁0201	ヰ	豆板	1200	350	30	0.4200	0.0126
主桁0201	ヱ	鉄筋露出	400	250	100	0.1000	0.0100
主桁0201	ハ	豆板	1200	100	30	0.1200	0.0036
主桁0201	ニ	豆板	200	200	100	0.0400	0.0040
主桁0201	ホ	鉄筋露出	250	250	100	0.0625	0.0063
主桁0201	ヘ	豆板	100	500	30	0.0500	0.0015
床版0301	と	鉄筋露出	3500	500	100	1.7500	0.1750
床版0301	ち	豆板	1000	400	30	0.4000	0.0120
床版0301	り	鉄筋露出	100	150	100	0.0150	0.0015
床版0301	め	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
床版0301	る	鉄筋露出	800	600	100	0.4800	0.0480
床版0301	を	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

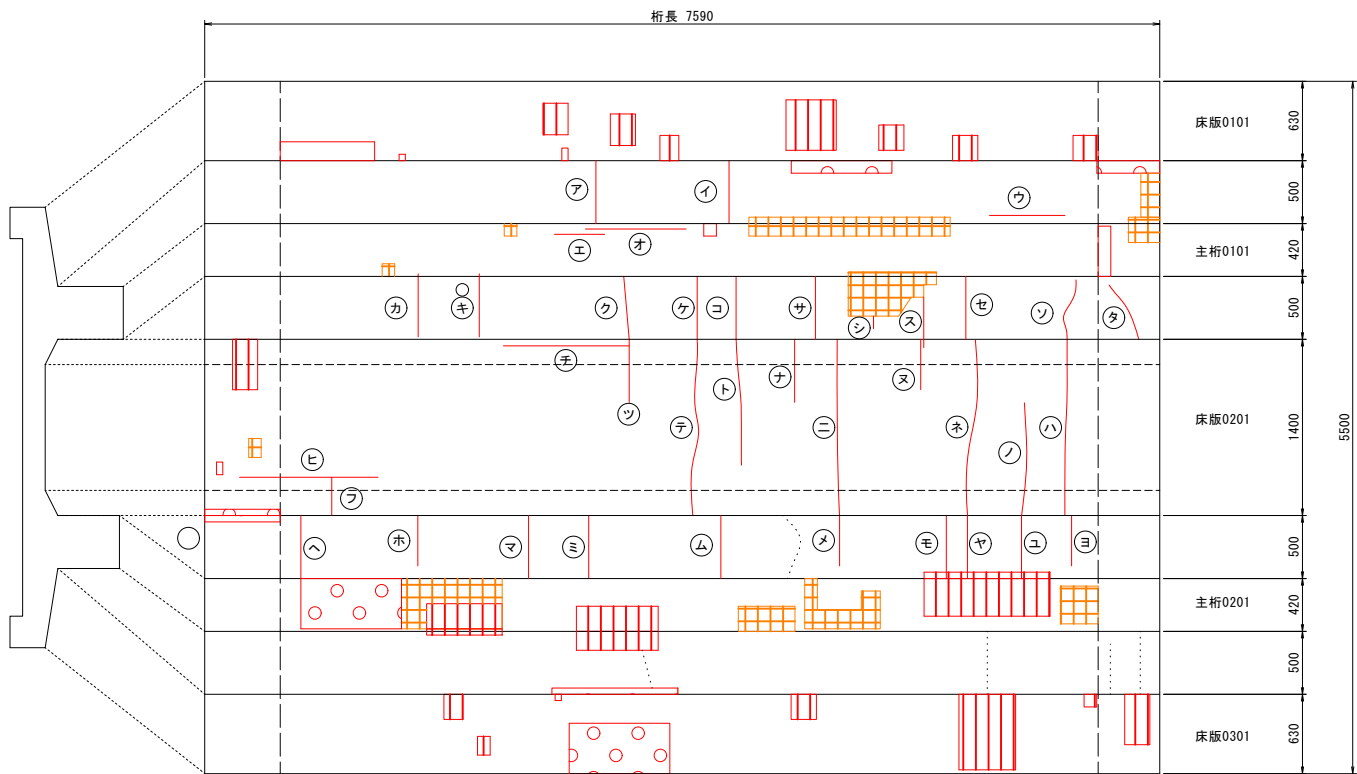
凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

図面番号	第 2 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	(上部工)RC部材補修詳細図 (その1)		
作成年月日	令和6年7月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

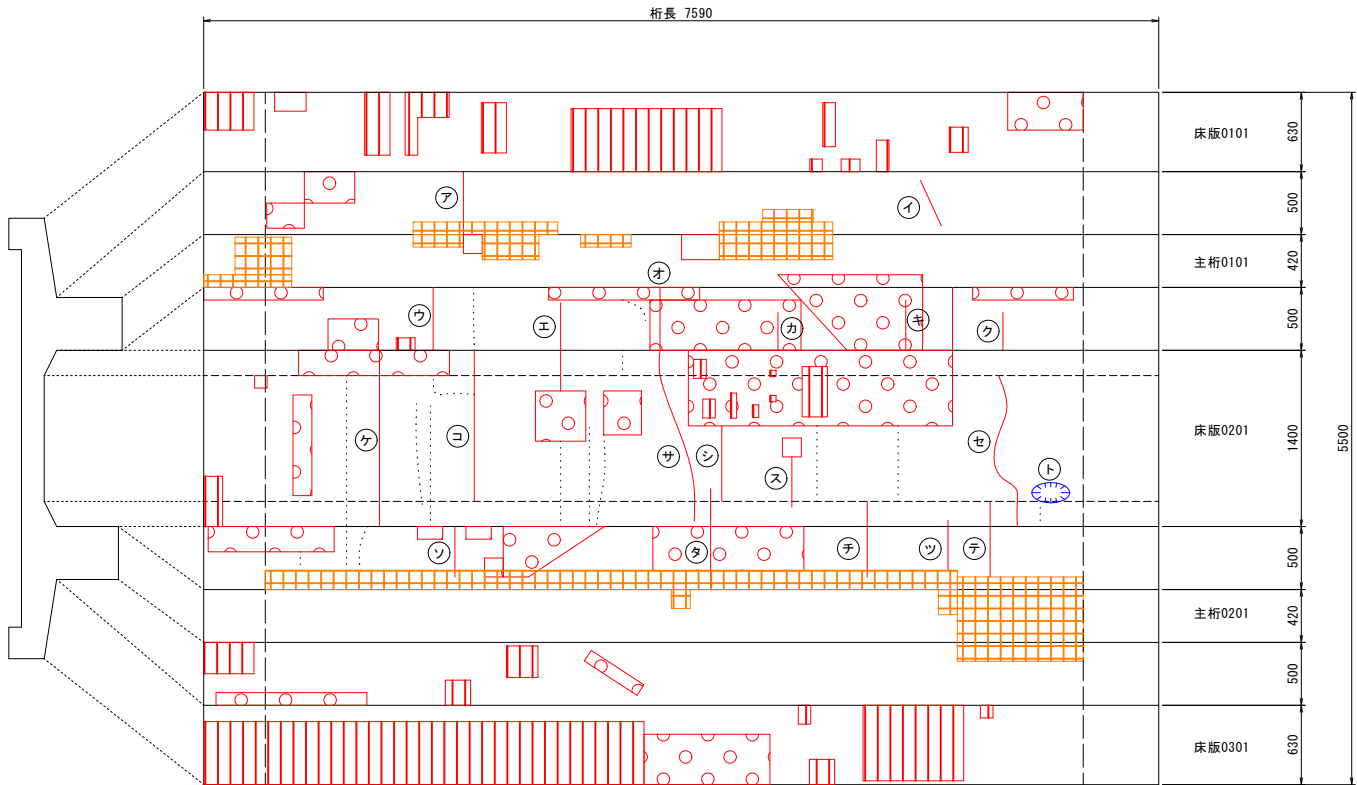
(上部工)RC部材補修詳細図(その2) S=1:30

ひびわれ注入工法, ひびわれ充てん工法

(第1径間)桁下面



(第2径間)桁下面



ひびわれ注入工法(ひびわれ)					
部材	No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	延長 L [m]	
主桁0101	ア	0.40	500	0.50	
主桁0101	イ	0.40	500	0.50	
主桁0101	ウ	0.30	600	0.60	
主桁0101	エ	0.20	400	0.40	
主桁0101	オ	0.20	800	0.80	
主桁0101	カ	0.40	500	0.50	
主桁0101	キ	0.40	500	0.50	
主桁0101	ク	0.40	500	0.50	
主桁0101	ケ	0.40	500	0.50	
主桁0101	コ	0.40	500	0.50	
主桁0101	サ	0.40	500	0.50	
主桁0101	シ	0.40	100	0.10	
主桁0101	ス	0.40	400	0.40	
主桁0101	セ	0.40	500	0.50	
主桁0101	ソ	0.40	500	0.50	
主桁0101	タ	0.40	500	0.50	
床版0201	チ	0.20	1000	1.00	
床版0201	ツ	0.20	500	0.50	
床版0201	テ	0.20	1400	1.40	
床版0201	ト	0.20	1000	1.00	
床版0201	ナ	0.20	500	0.50	
床版0201	ニ	0.20	1400	1.40	
床版0201	ヌ	0.20	400	0.40	
床版0201	ネ	0.20	1400	1.40	
床版0201	ノ	0.20	900	0.90	
床版0201	ハ	0.20	1400	1.40	
床版0201	ヒ	0.20	1100	1.10	
床版0201	フ	0.20	300	0.30	
主桁0201	ヘ	0.30	500	0.50	
主桁0201	ホ	0.30	400	0.40	
主桁0201	マ	0.30	500	0.50	
主桁0201	ミ	0.30	500	0.50	
主桁0201	ム	0.30	500	0.50	
主桁0201	メ	0.20	400	0.40	
主桁0201	モ	0.20	500	0.50	
主桁0201	ヤ	0.20	500	0.50	
主桁0201	ユ	0.20	500	0.50	
主桁0201	ヨ	0.20	400	0.40	

ひびわれ注入工法(ひびわれ)					
部材	No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	延長 L [m]	
主桁0101	ア	0.20	500	0.50	
主桁0101	イ	0.30	400	0.40	
主桁0101	ウ	0.20	500	0.50	
主桁0101	エ	0.20	400	0.40	
主桁0101	オ	0.20	500	0.50	
主桁0101	カ	0.20	300	0.30	
主桁0101	キ	0.30	400	0.40	
主桁0101	ク	0.30	300	0.30	
床版0201	ケ	0.20	1400	1.40	
床版0201	コ	0.20	1200	1.20	
床版0201	サ	0.20	1400	1.40	
床版0201	シ	0.20	600	0.60	
床版0201	ス	0.20	400	0.40	
床版0201	セ	0.20	1300	1.30	
主桁0202	ソ	0.20	500	0.50	
主桁0202	タ	0.20	800	0.80	
主桁0202	チ	0.20	400	0.40	
主桁0202	ツ	0.20	500	0.50	
主桁0202	テ	0.20	600	0.60	

ひびわれ充てん工法(遊離石灰)					
部材	No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	延長 L [m]	
主桁0101	ト	1.00	300	0.30	

《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）
で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

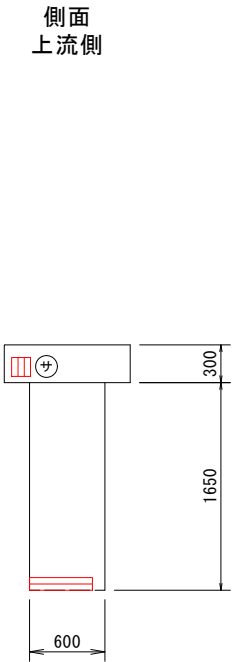
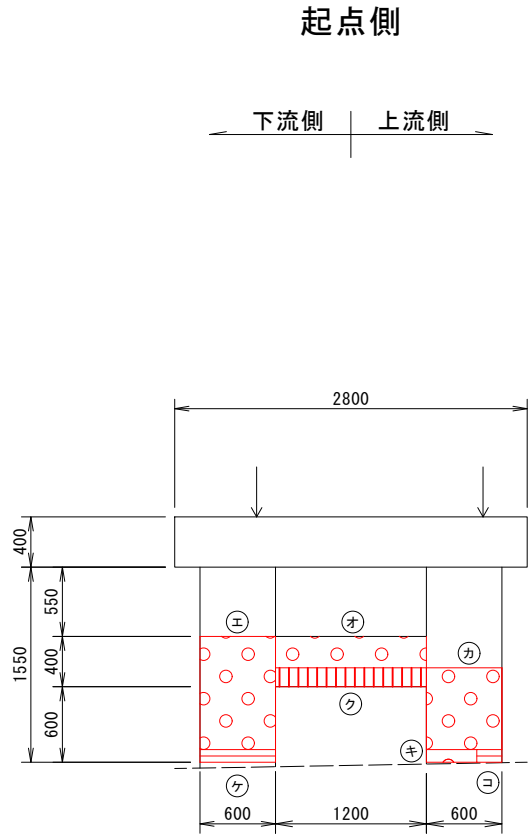
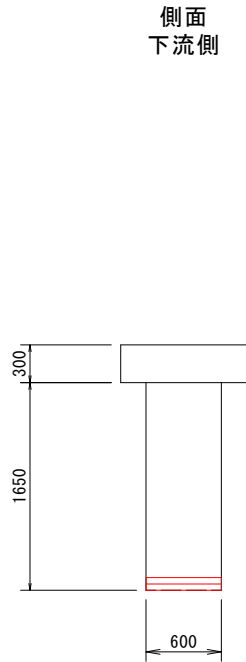
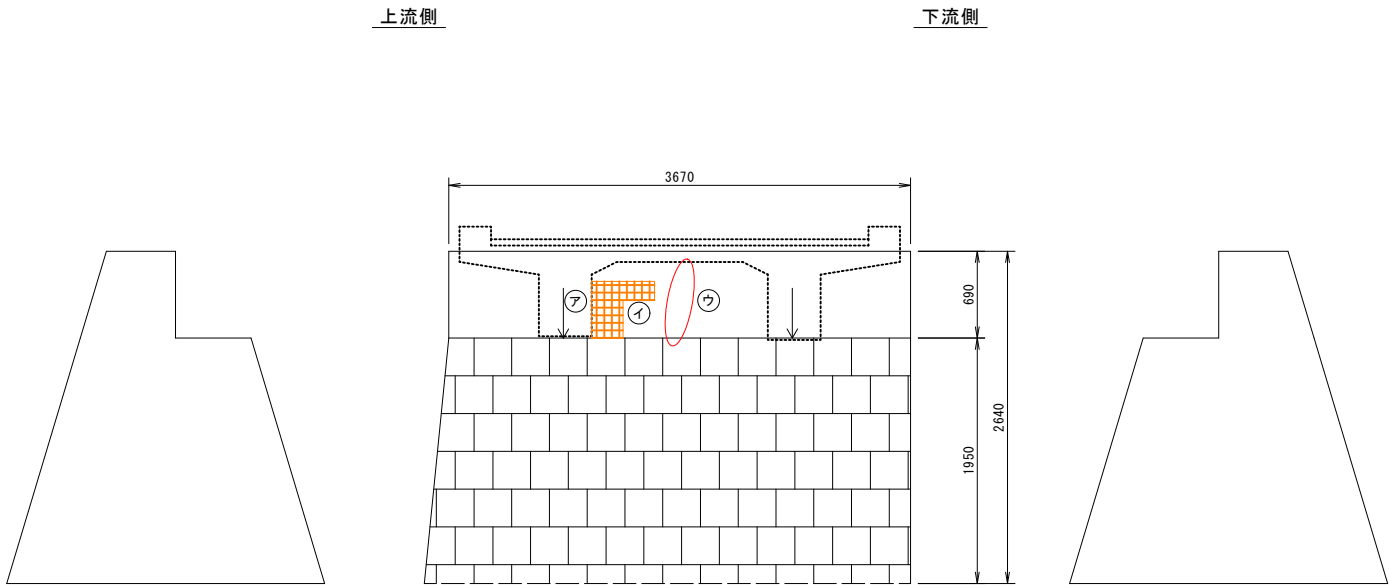
図面番号	第 3 号		図面総数	第 15 葉	
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事				
図名	(上部工)RC部材補修詳細図 (その2)				
作成年月日	令和 6 年 7 月		所 属 年 度	令和 6 年 度	
係員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図 照 査
鳴 門 市 産 業 振 興 部 農 林 水 産 課					

(下部工)RC部材補修詳細図(その1) S=1:30

第1径間 下部工

(第1径間)A1橋台下部工

(第1径間)P1橋脚下部工



部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]
橋台〔胸壁〕0101	ア	うき	450	200	100	0.0900	0.0090
橋台〔胸壁〕0101	イ	うき	150	250	100	0.0375	0.0038
橋台〔胸壁〕0101	ウ	欠損	500	200	500	0.1000	0.0500
橋脚〔柱部・壁部〕0101	エ	豆板	600	900	30	0.5400	0.0162
橋脚〔柱部・壁部〕0101	オ	豆板	1200	250	30	0.3000	0.0090
橋脚〔柱部・壁部〕0101	カ	豆板	600	650	30	0.3900	0.0117
橋脚〔柱部・壁部〕0101	キ	豆板	400	100	30	0.0400	0.0012
橋脚〔柱部・壁部〕0101	ク	鉄筋露出	1200	150	100	0.1800	0.0180
橋脚〔柱部・壁部〕0101	ケ	すりへり	1700	100	30	0.1700	0.0051
橋脚〔柱部・壁部〕0101	コ	すりへり	400	100	30	0.0400	0.0012
橋脚〔梁部〕0101	サ	鉄筋露出	150	150	100	0.0225	0.0023

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
空洞・空洞	
漏水・滲水	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

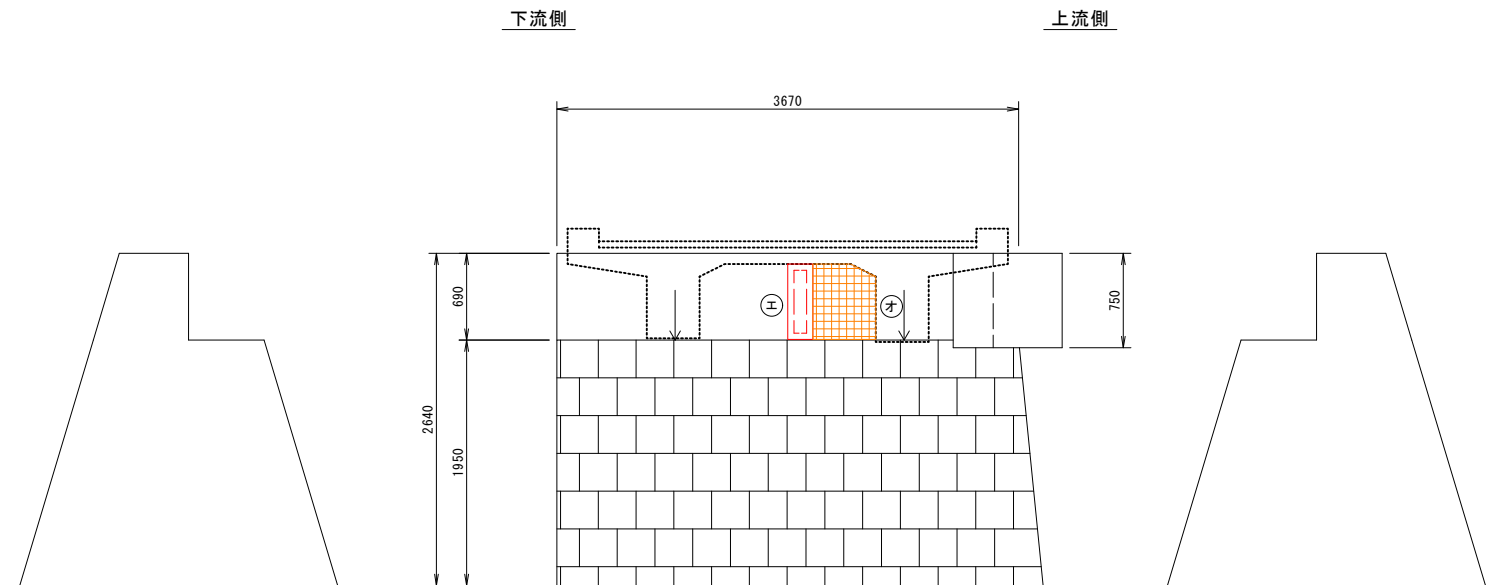
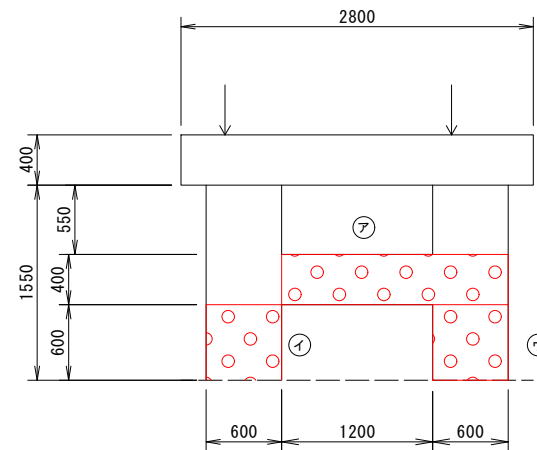
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋展による充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

図面番号	第 4 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	(下部工)RC部材補修詳細図 (その1)		
作成年月日	令和6年7月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

第2径間 下部工

(第2径間)A2橋台下部工

上流側 | 下流側



《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡 例	
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滲水	

《ひび割れの線種》	
	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

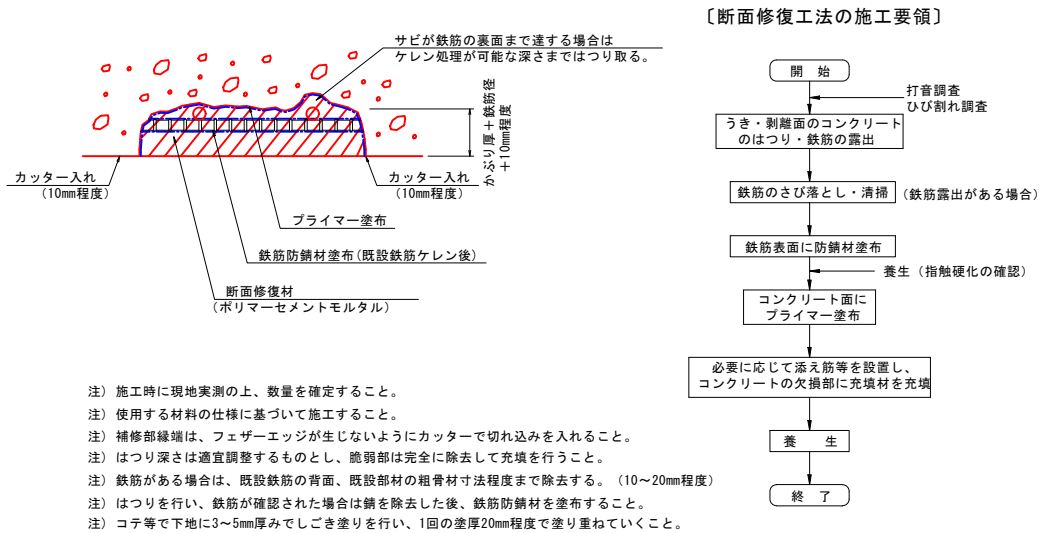
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、実調査の上で補修すること。
 注) 遊離石灰により、注入が困難な場合はリカット工（もしくはVカット）を取り除き、ポリマーセメントモルタル充填による充填工法に変更すること。
 注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

図面番号	第 5 号	図面総数	第 15 葉			
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図 名	(下部工)RC部材補修詳細図 (その2)					
作成年月日	令和 6 年 7 月	所属年度	令和 6 年度			
係 員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 産 業 振 興 部 農 林 水 産 課						

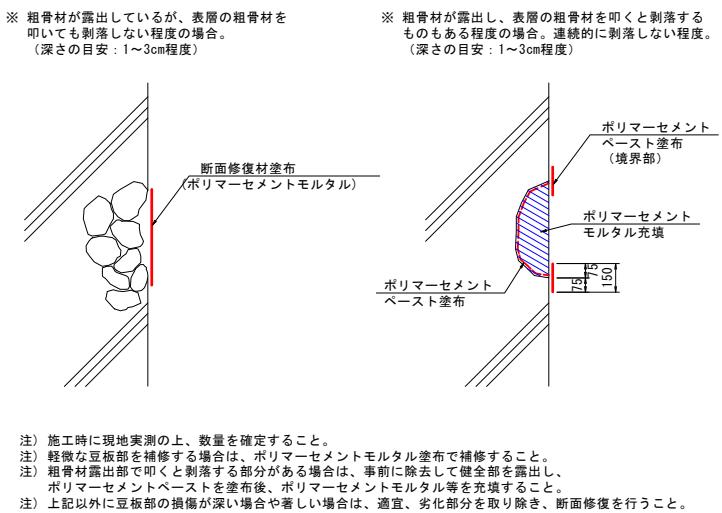
(共通工)RC部材補修詳細図(その1)

断面修復工, ひわれ注入工, ひびわれ充填てん工 詳細図

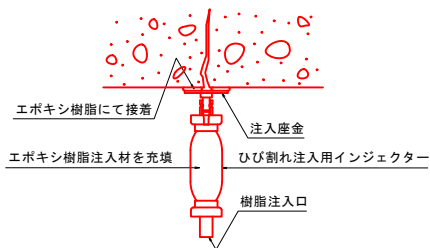
断面修復工詳細図



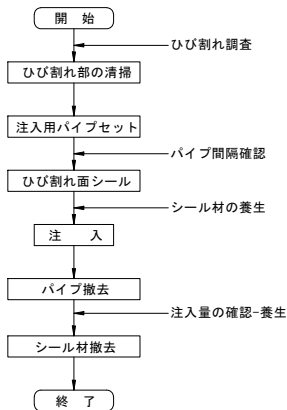
豆板修復工(参考図)



ひびわれ注入工詳細図



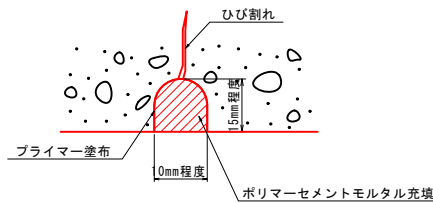
〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



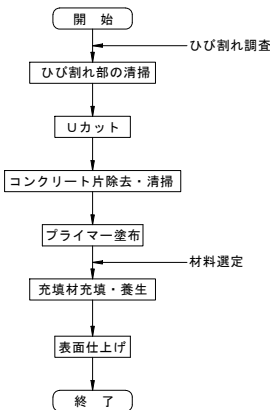
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)



〔Uカット工法の施工要領〕



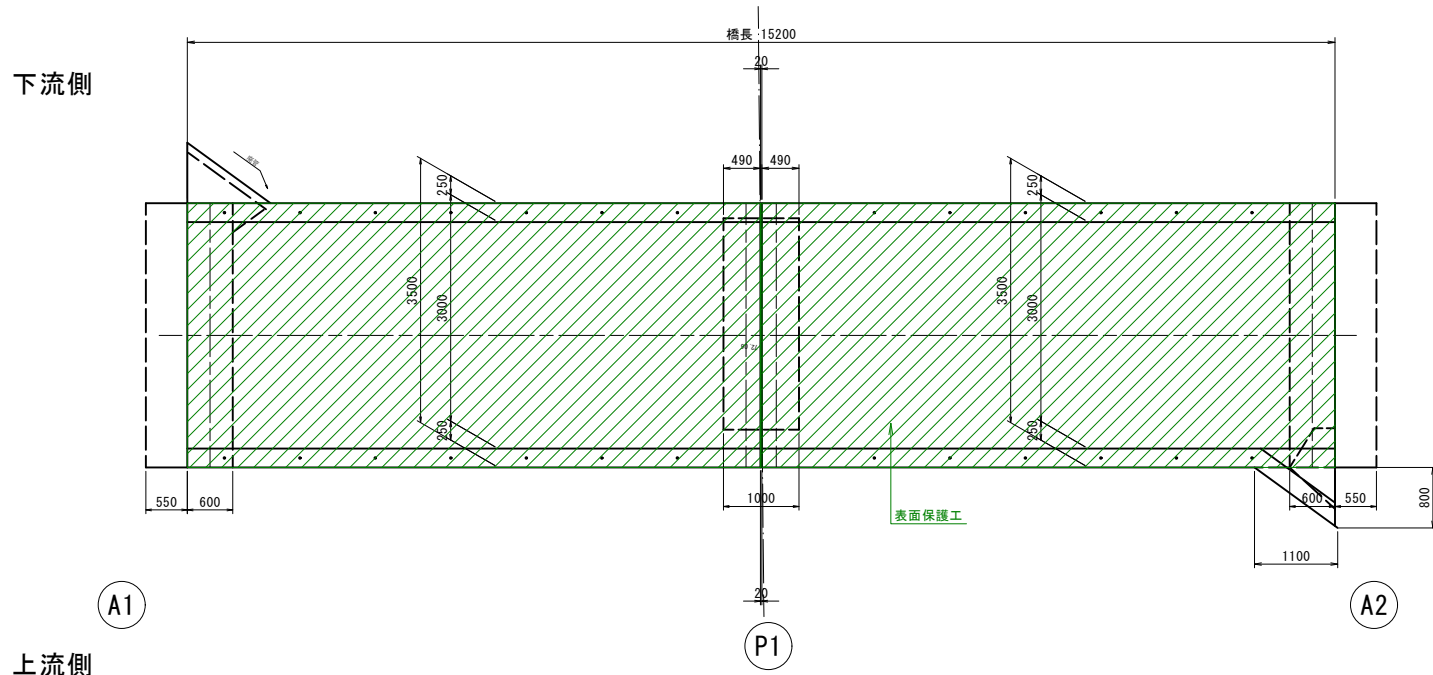
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

図面番号	第 6 号		図面総数	第 15 葉		
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図名	(共通工)RC部材補修詳細図 (その1)					
作成年月日	令和 6 年 7 月		所 属 年 度		令和 6 年度	
係員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 産 業 振 興 部 農 林 水 産 課						

(共通工)RC部材補修詳細図(その2) S=1:30

表面保護工

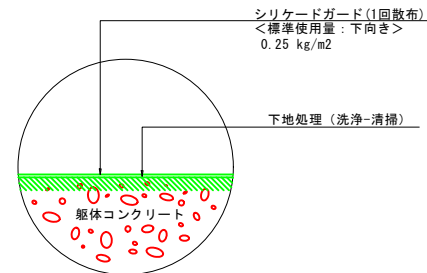
平面図 S=1:50



表面含浸工詳細図

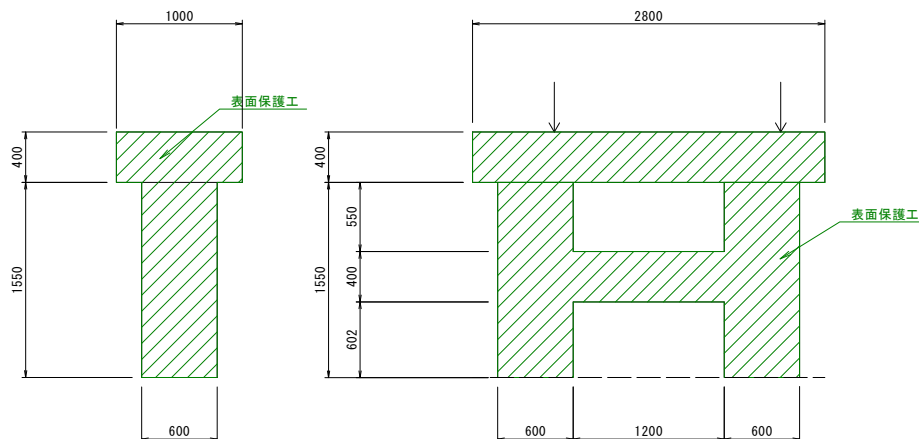
(ケイ酸ナトリウム系)

【対象: 桁下面, P1橋脚】

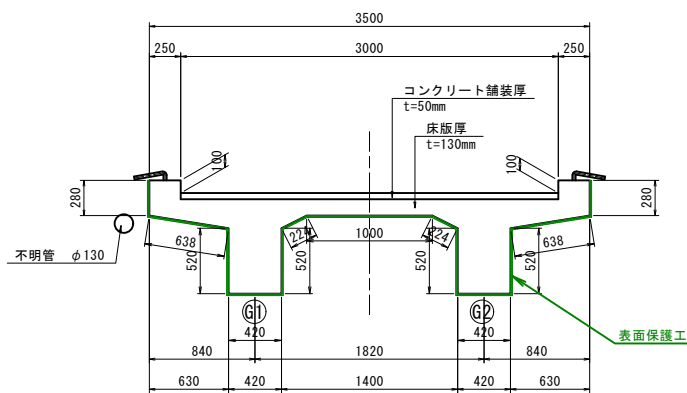


※下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては高圧洗浄やディスクサンダーケレンによって除去-清掃すること。
※含浸工は、「シリケートガード」を参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※シリケートガードの上・横向きの散布はm2当たり0.25kgの1回散布とする。

下部工断面図 S=1:30



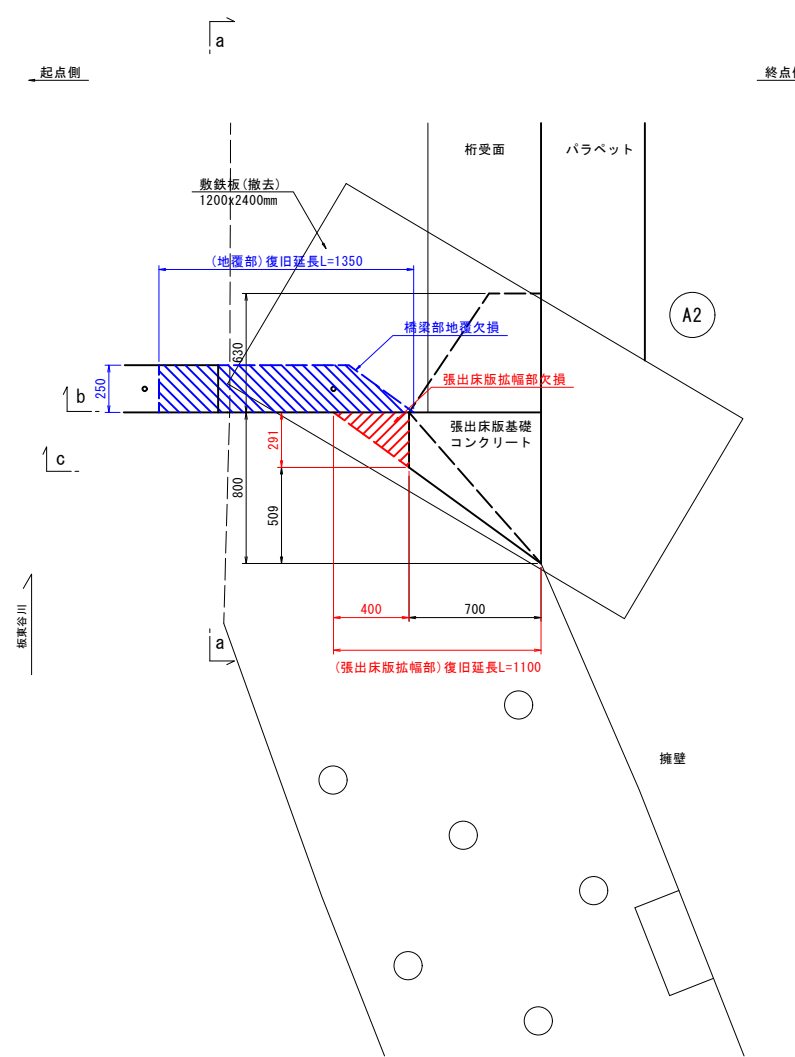
RCT桁断面図 S=1:30



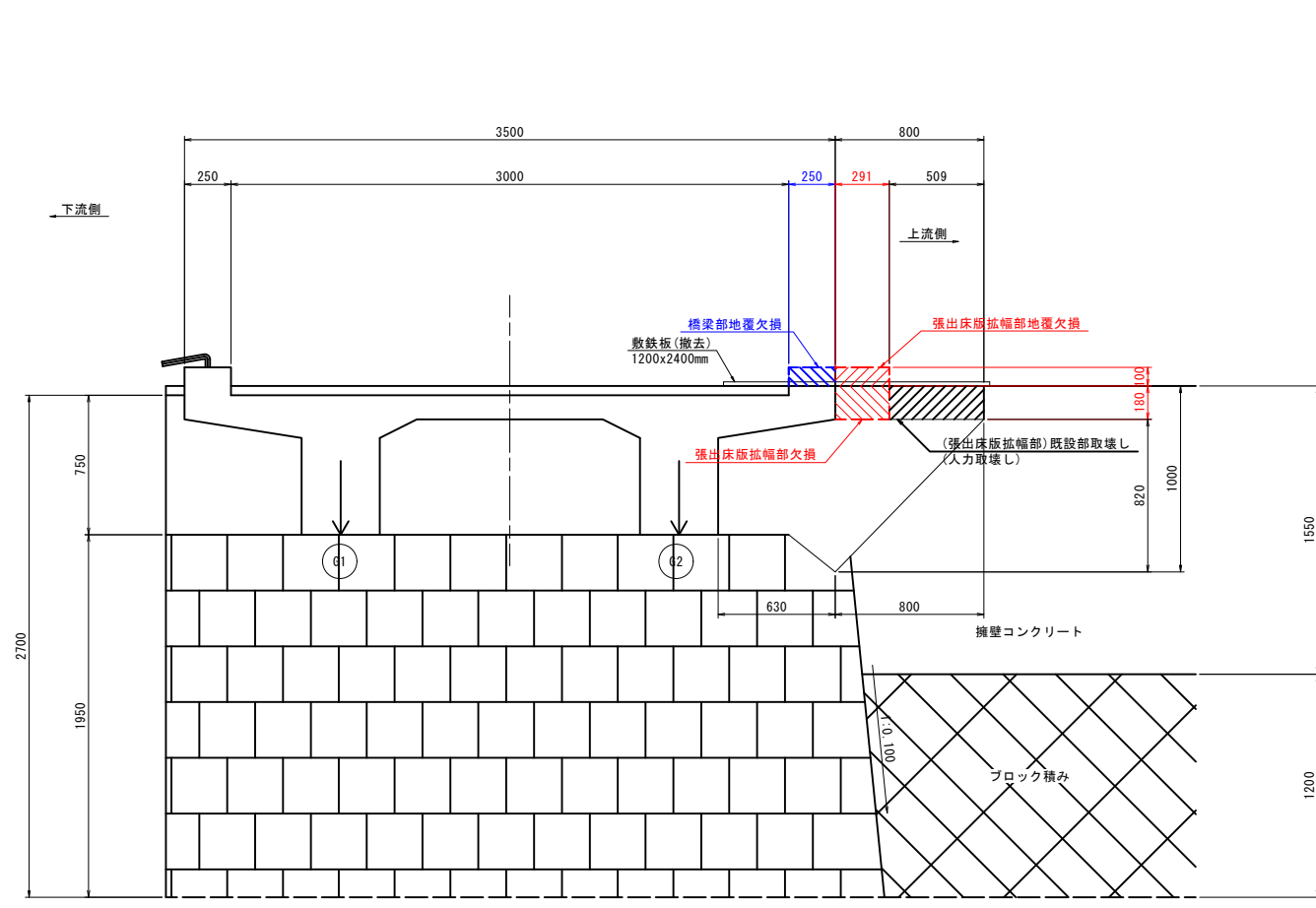
図面番号	第 7 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	(共通工)RC部材補修詳細図 (その2)		
作成年月日	令和6年7月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

張出床版拡幅部復旧計画図S=1:20

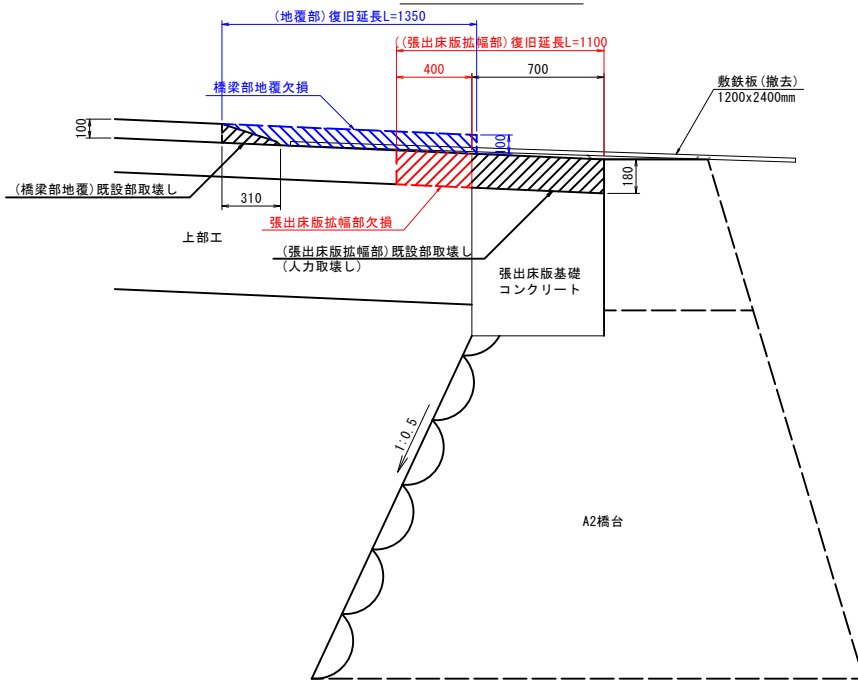
平面図



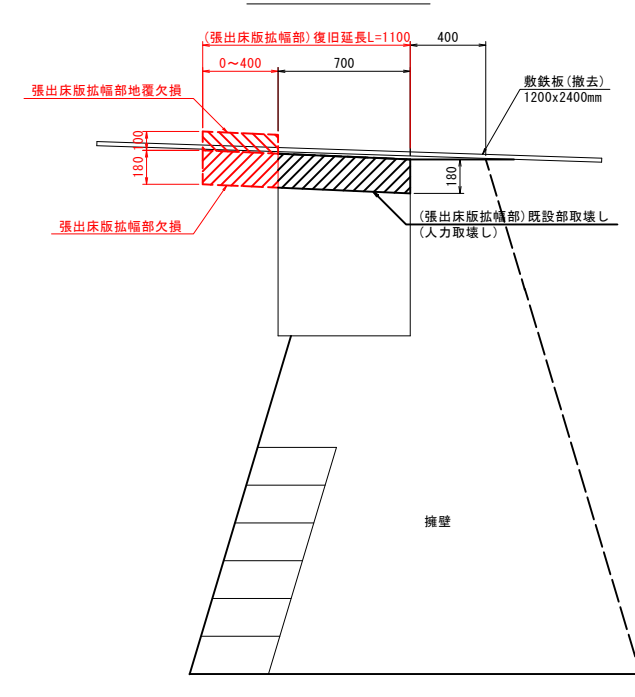
a-a断面図



b-b断面図



c-c断面図



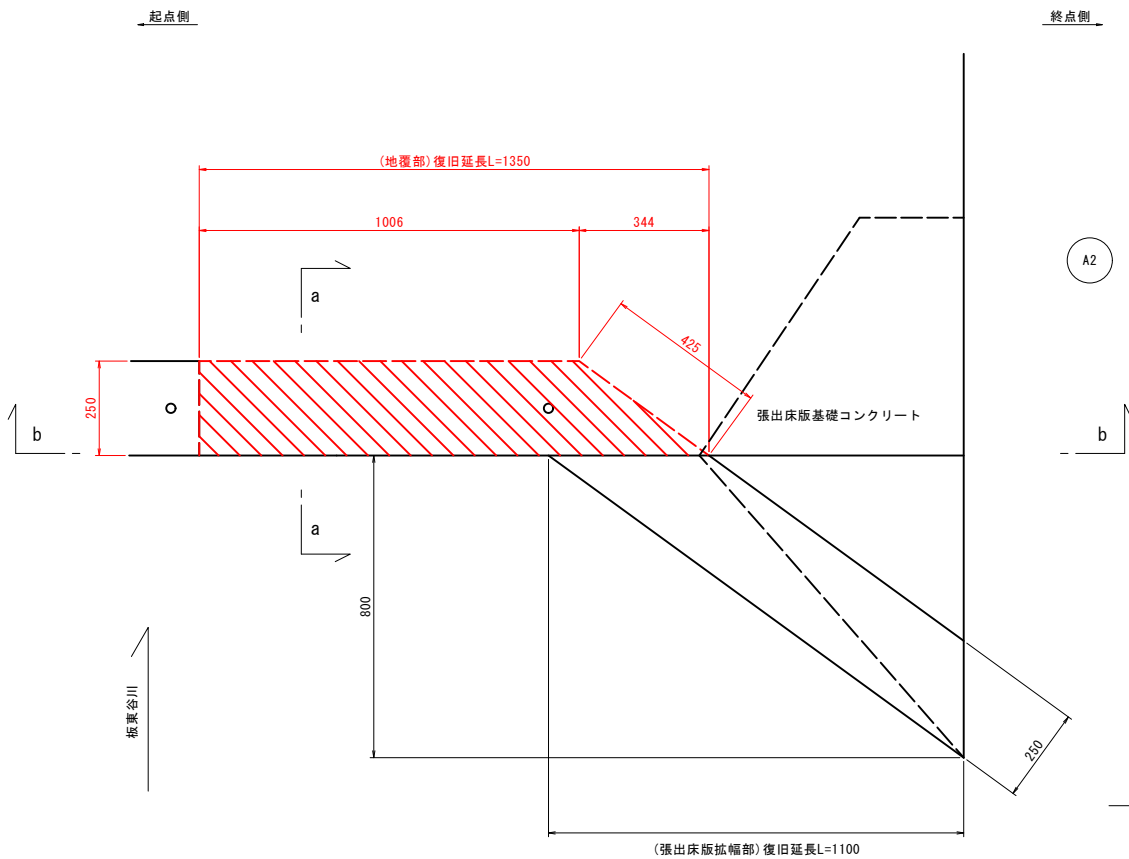
【補修概要】
・現況の張出床版拡幅部および地覆が欠損しているため、断面の回復を行う。

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。

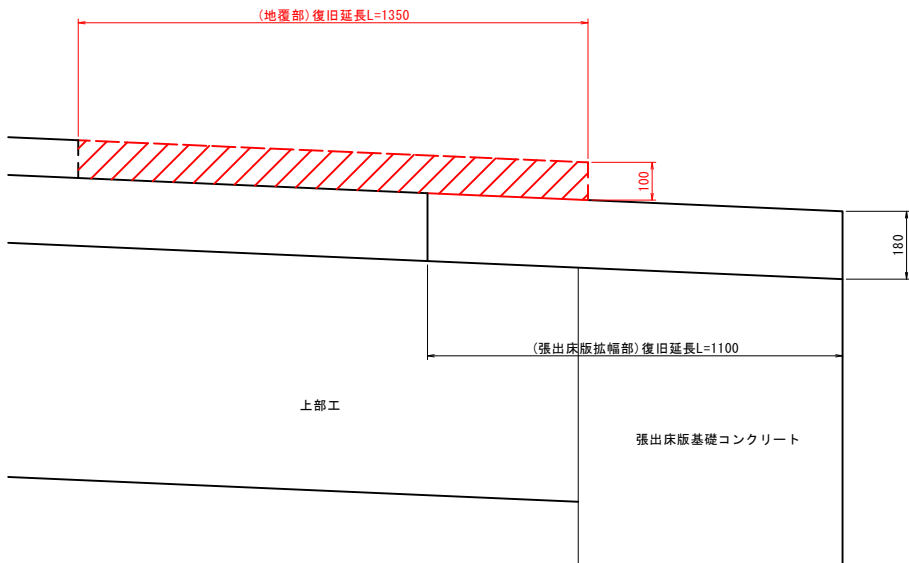
図面番号	第 8 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	張出床版拡幅部復旧計画図		
作成年月日	令和 6 年 7 月	所属年度	令和 6 年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

橋梁部地覆復旧詳細図 S=1:10

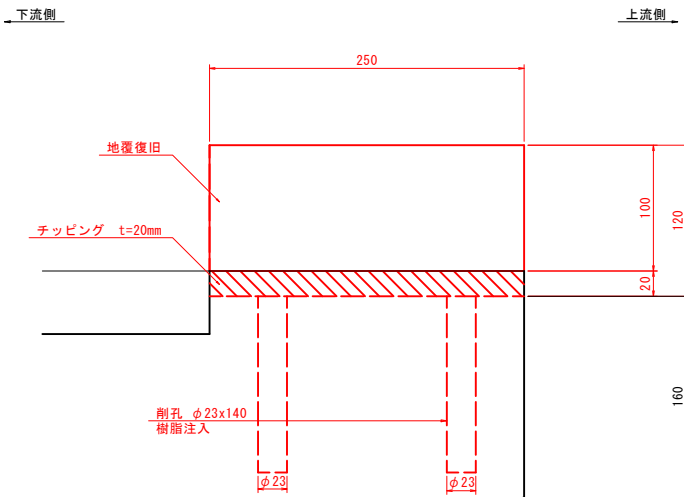
平面図



b-b断面図

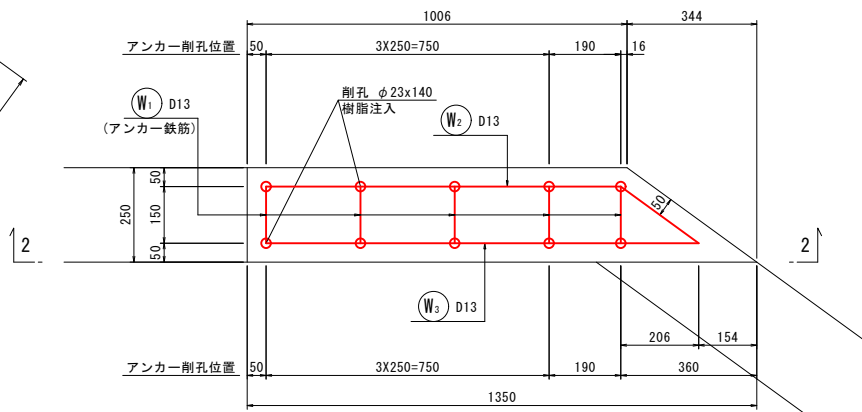


a-a断面図 S=1:3

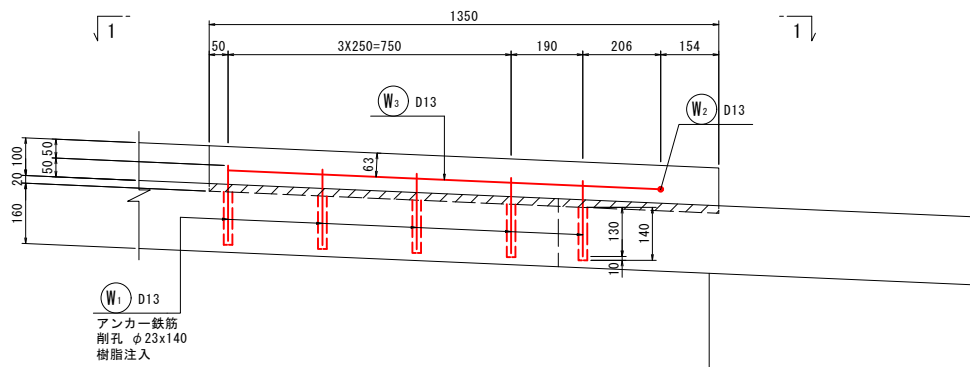


配筋図

1-1 (平面図)



2-2 (側面図)

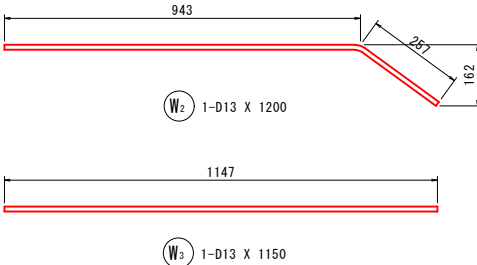
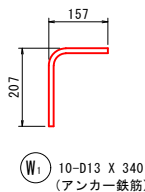
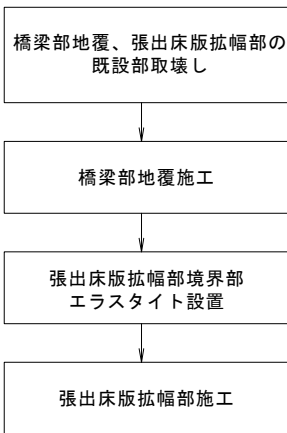


使用材料一覧表

コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{kN/m}^2$
鉄筋	SD345

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 削孔を行う際には鉄筋探索を行い
既設鉄筋を備付けないよう留意すること。

施工フロー



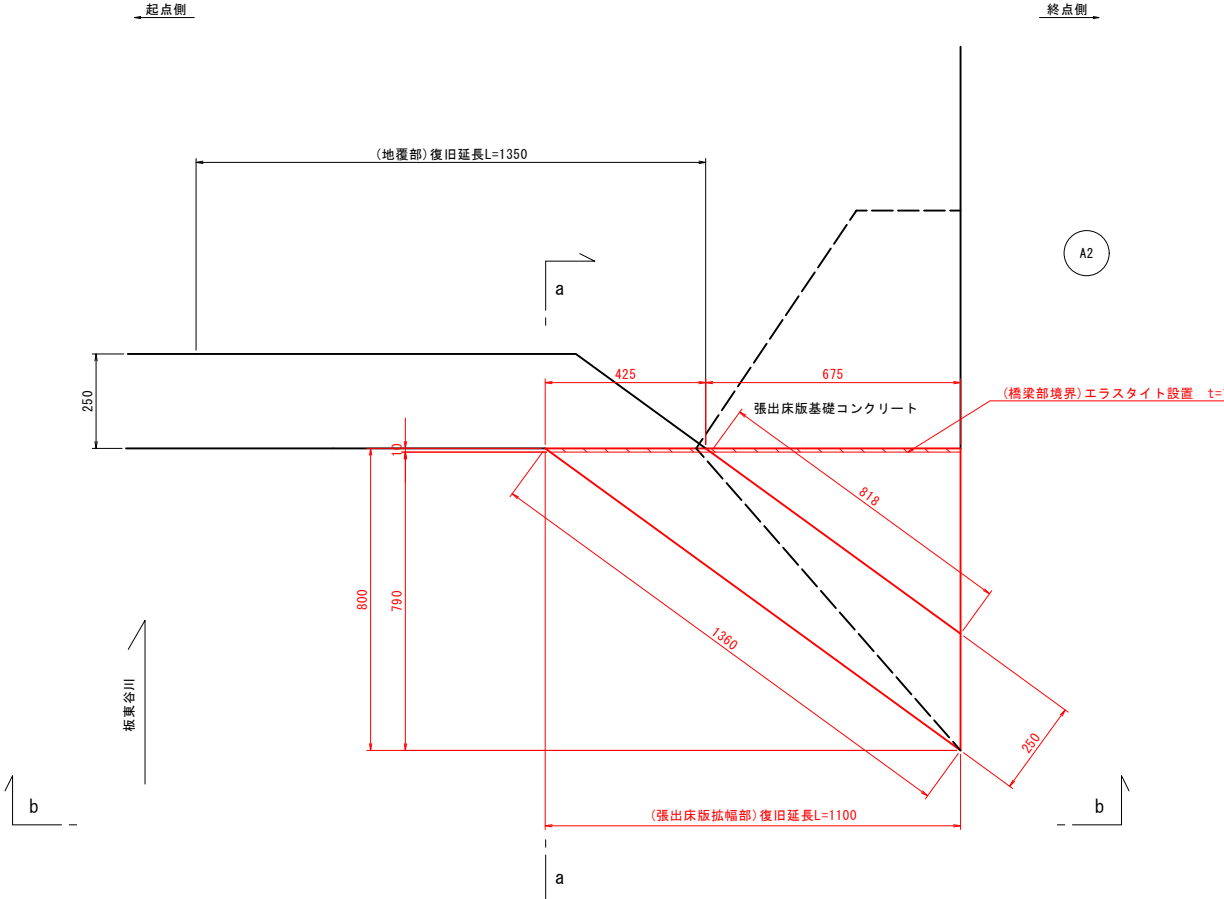
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W ₁	D13	340	10	0.995	0.34	3	
W ₂	D13	1200	1	0.995	1.19	1	
W ₃	D13	1150	1	0.995	1.14	1	
5							
合計 D13							5 kg
総質量							5 kg

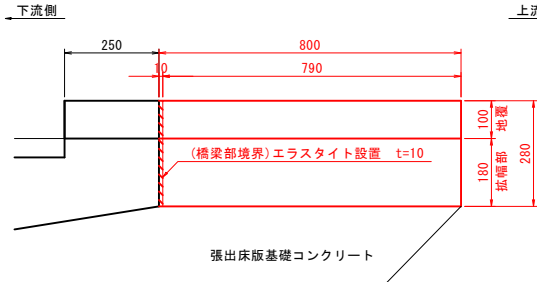
図面番号	第 9 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	橋梁部地覆復旧詳細図		
作成年月日	令和 6 年 7 月	所属年度	令和 6 年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

張出床版抃幅部復旧詳細図 S=1:10

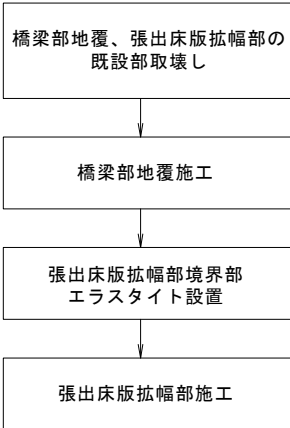
平面图



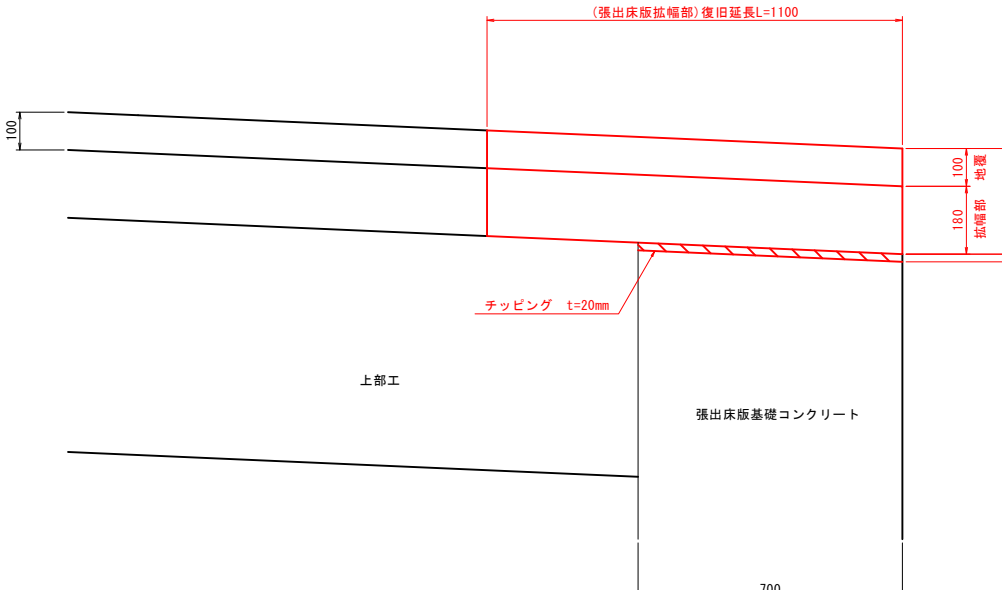
a-a断面图



施工フロ-



b-b 断面図



使用材料一覽表

コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{kN/m}^2$
鉄筋	SD345

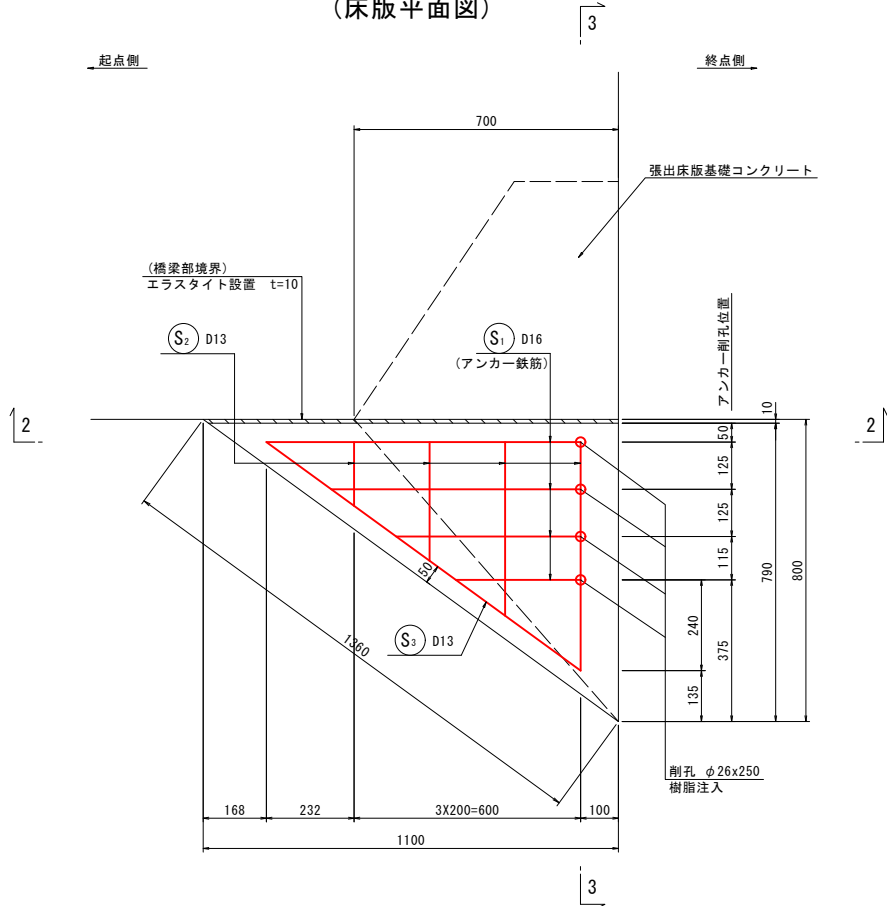
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。

図面番号	第 10 号		図面総数	第 15 葉		
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図名	張出床版拡幅部復旧詳細図					
作成年月日	令和 6 年 7 月		所属年度	令和 6 年度		
係員	課長	副課長	係長	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課						

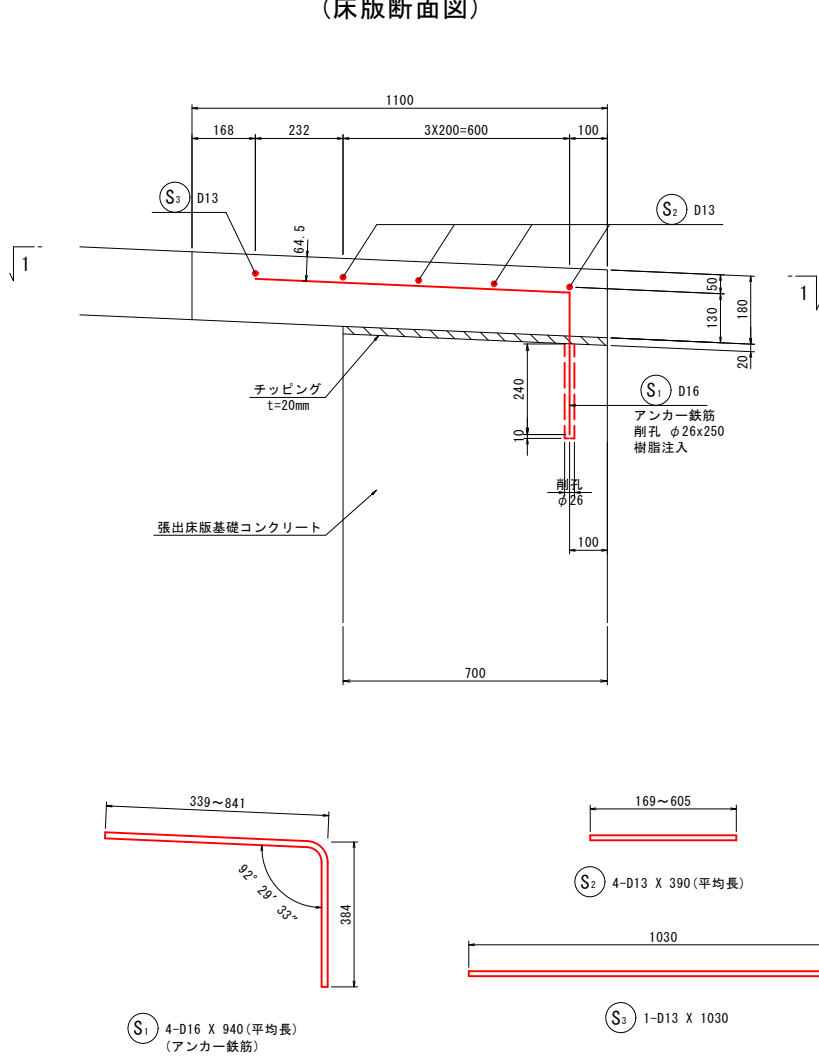
張出床版拡幅部配筋図 S=1:10

床版

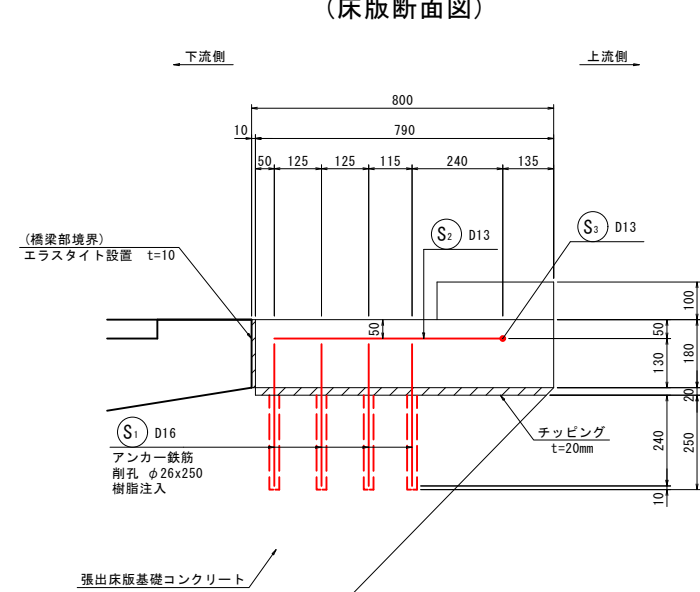
1-1
(床版平面図)



2-2
(床版断面図)



3-3
(床版断面図)

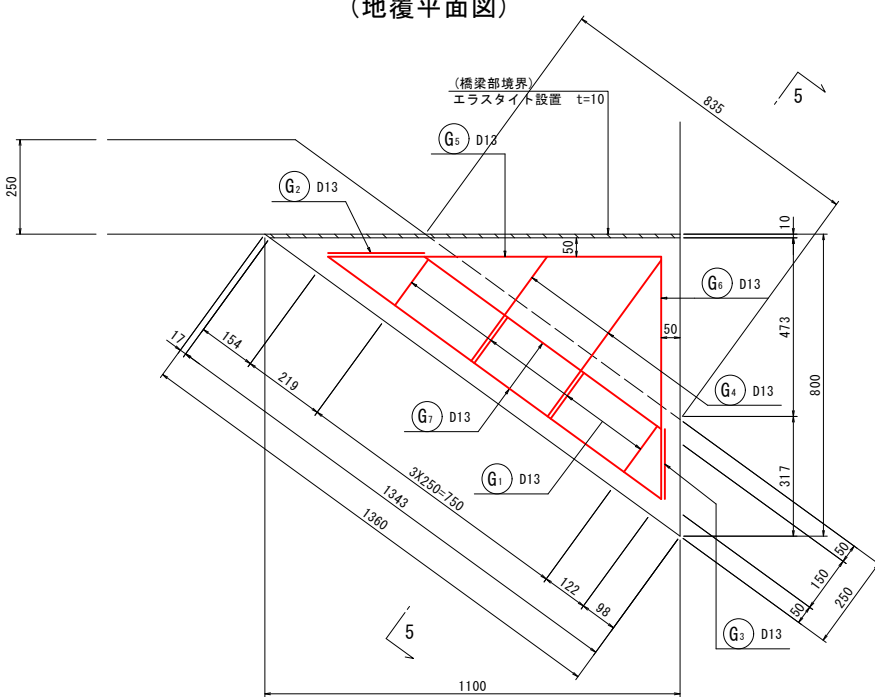


鉄筋質量表 (SD345)

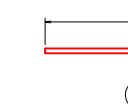
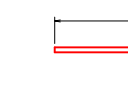
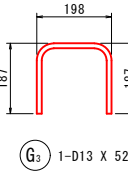
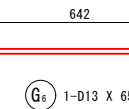
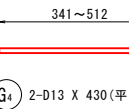
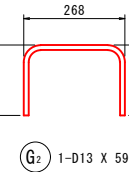
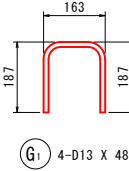
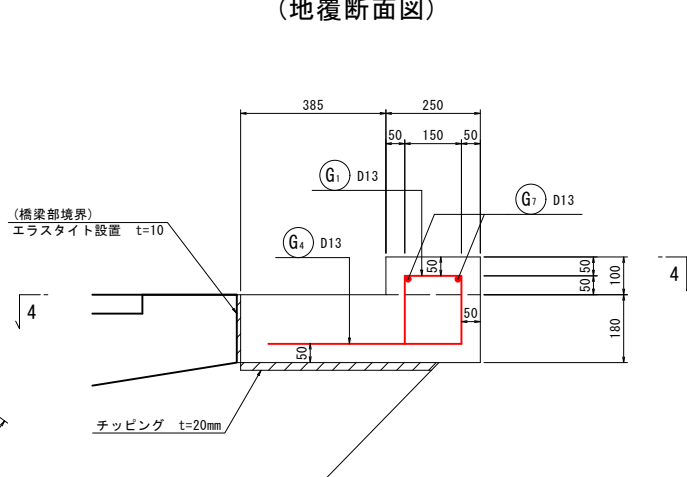
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S1	D16	940	4	1.56	1.47	6	(平均長)
S2	D13	390	4	0.995	0.39	2	(平均長)
S3	D13	1030	1	0.995	1.02	1	
9							
G1	D13	480	4	0.995	0.48	2	
G2	D13	590	1	0.995	0.59	1	
G3	D13	520	1	0.995	0.52	1	
G4	D13	430	2	0.995	0.43	1	(平均長)
G5	D13	890	1	0.995	0.89	1	
G6	D13	650	1	0.995	0.65	1	
G7	D13	940	2	0.995	0.94	2	(平均長)
9							
合計 D16							6 kg
D13							12 kg
総質量							18 kg

地覆

4-4
(地覆平面図)



5-5
(地覆断面図)



使用材料一覧表

コンクリート	σck=24kN/m2
鉄筋	SD345

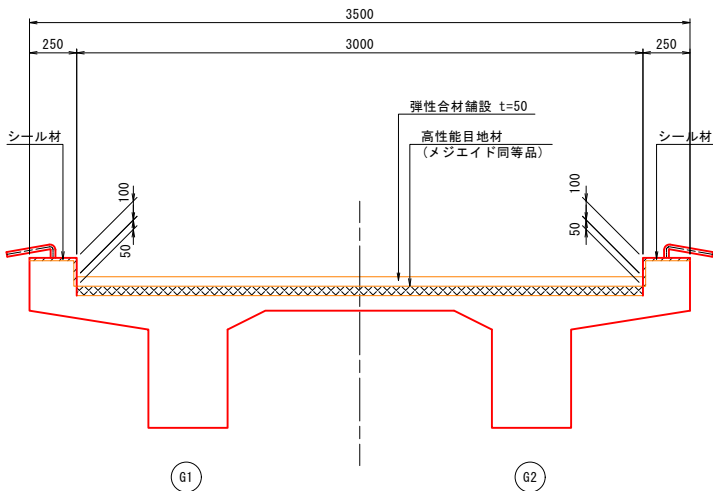
図面番号	第 11 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	張出床版拡幅部配筋図		
作成年月日	令和 6 年 7 月	所属年度	令和 6 年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。

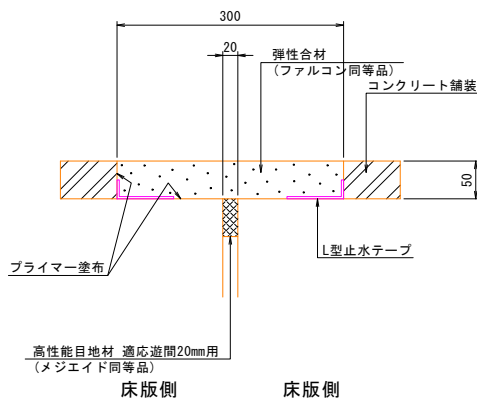
伸縮装置取替工詳細図

西谷線1号橋

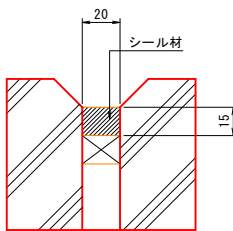
断面図 S=1:20



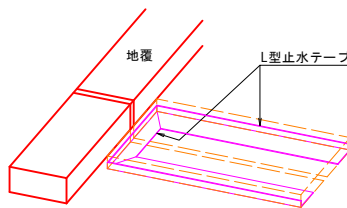
弾性合材舗設断面図 S=1:5



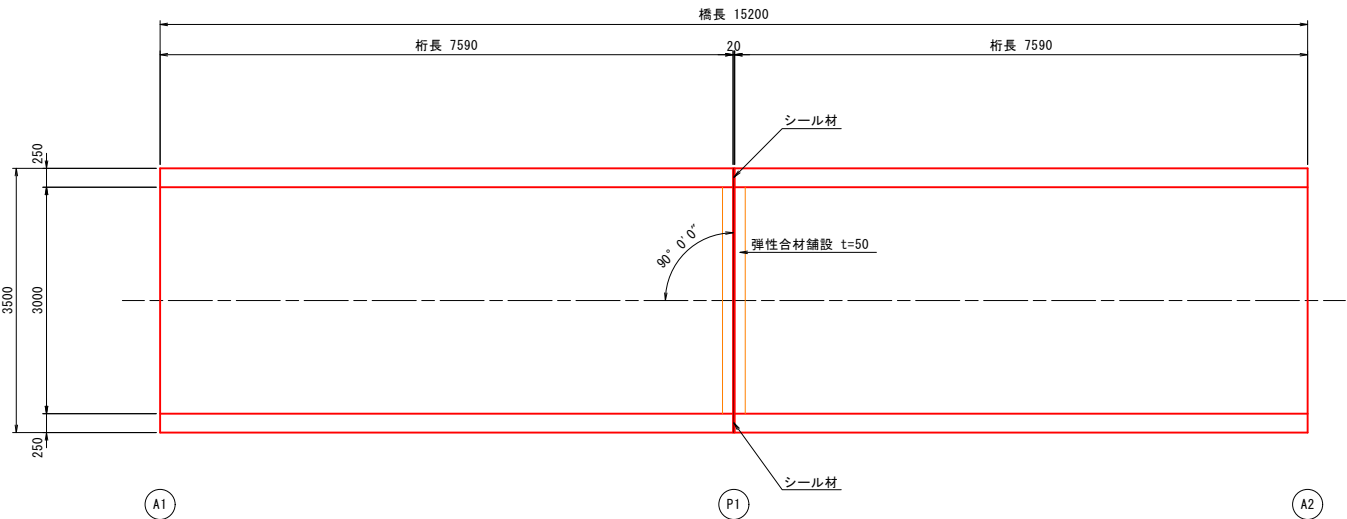
地覆部断面図 S=1:2



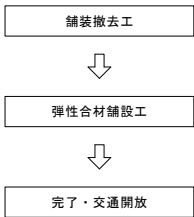
施工境界部イメージ図



平面図 S=1:50



施工フロー



数量表（設置）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
施 工 延 長	-	m	3.000	
プライマー	F C コ ー ト同等品	L	0.614	
弾 性 合 材	フ ァ ル コ ン同等品	m ³	0.045	
止 水 材	高性能目地材（適応遊間20mm用）（メジエイド同等品）	m	3.000	
止水目地材	L型止水テープ（高弾性）	m	12.000	

数量表（他材料）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	L	0.264	

図面番号	第 12 号	図面総数	第 15 葉			
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図名	伸縮装置取替工詳細図					
作成年月日	令和 6 年 7 月	所 属 年 度	令和 6 年 度			
係 員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 産 業 振 興 部 農 林 水 産 課						

地覆部の補修

第1徑間



幅 $W=50\sim 100$

掘削 100

路面

断面修復工 (左官工法)

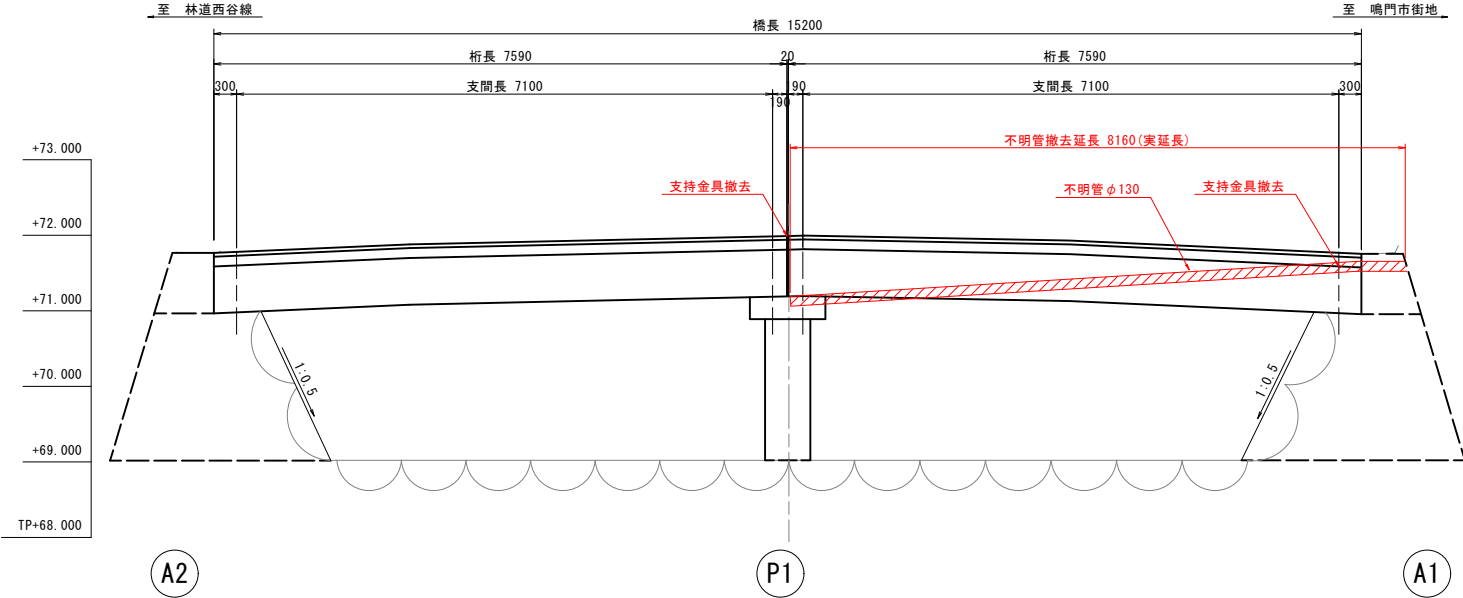
地覆

断面修復工 (左官工法)			第2係用				
部材	No.	種別	幅 W (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A (m ²)	体積 V (m ³)
地覆①01	ア	穴掘	200	150	280	0.0300	0.0084
地覆①02	イ	うき	100	50	170	0.0050	0.0007
地覆①01	ウ	穴掘	650	300	50	0.1950	0.0098
地覆①01	エ	鉄筋露出	400	400	100	0.1600	0.0160
地覆①01	オ	穴掘	100	7200	50	0.7200	0.0810
地覆②01	ア	穴掘	300	200	100	0.0600	0.0060
地覆②01	イ	穴掘	5600	50	180	0.5040	0.0900
地覆②01	キ	穴掘	400	100	30	0.0400	0.0012
地覆②01	ク	うき	250	700	100	0.1750	0.0175

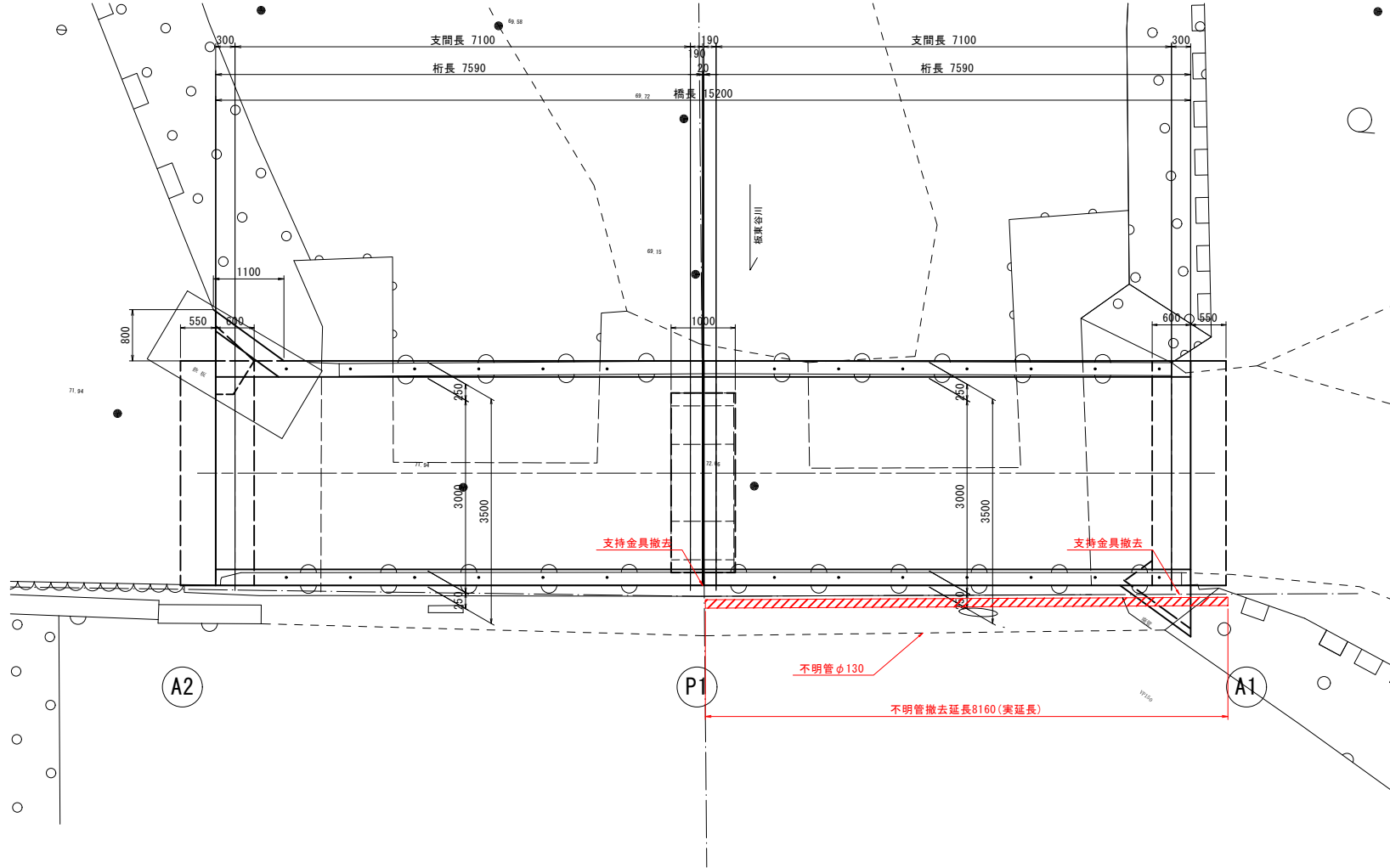
図面番号	第 13 号	図面総数	第 15 葉			
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図 名	橋面補修詳細図					
作成年月日	令和 6 年 7 月	所 属 年 度	令 和 6 年 度			
係 員	課 長	副課長	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 産 業 振 興 部 農 林 水 産 課						

添架物撤去詳細図S=1:50

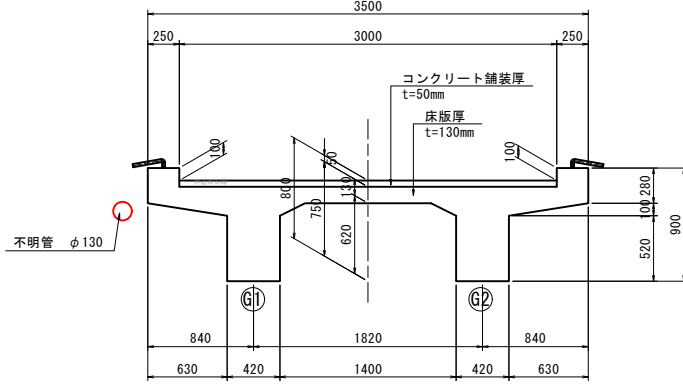
側面図



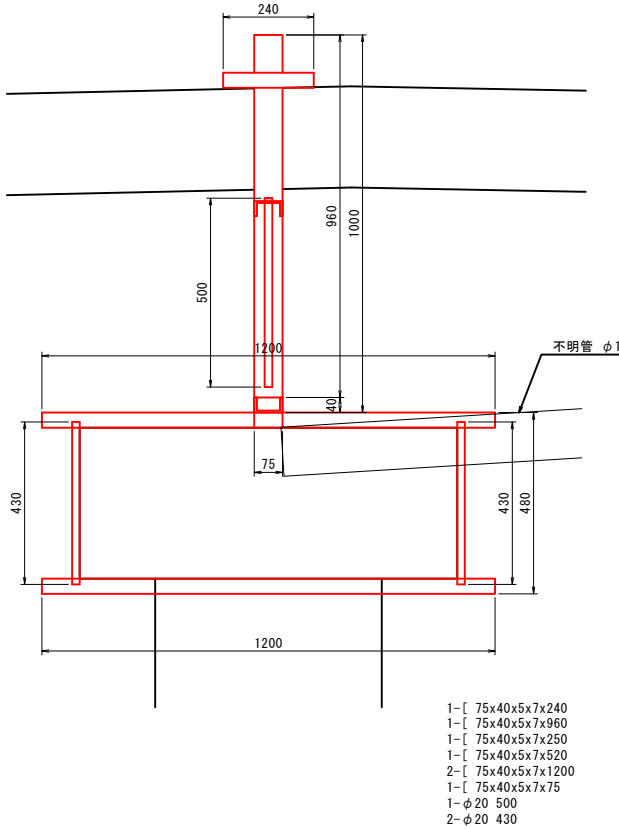
平面图



断面図 S=1:30

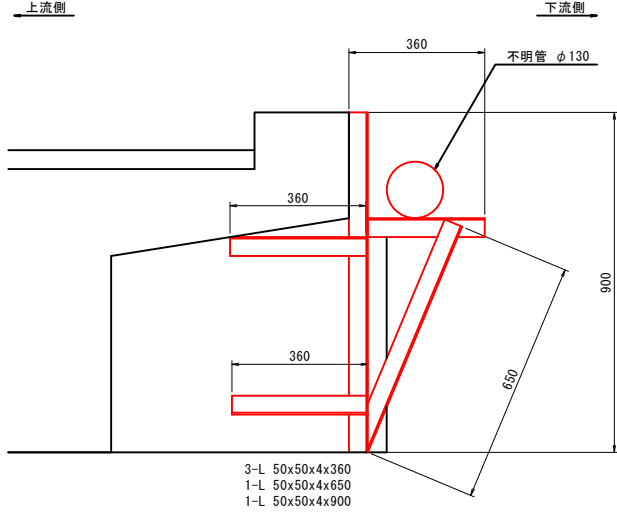


P1橋脚側面図

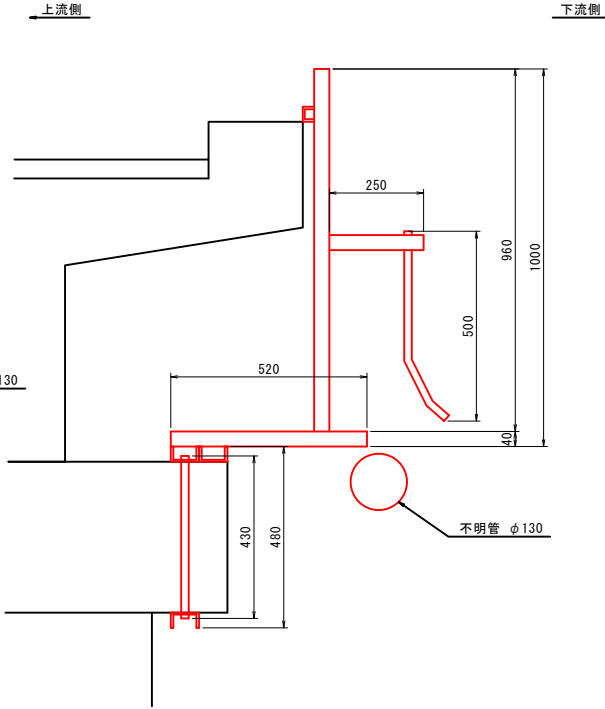


支持金具詳細図 S=1:10

A1橋台正面図



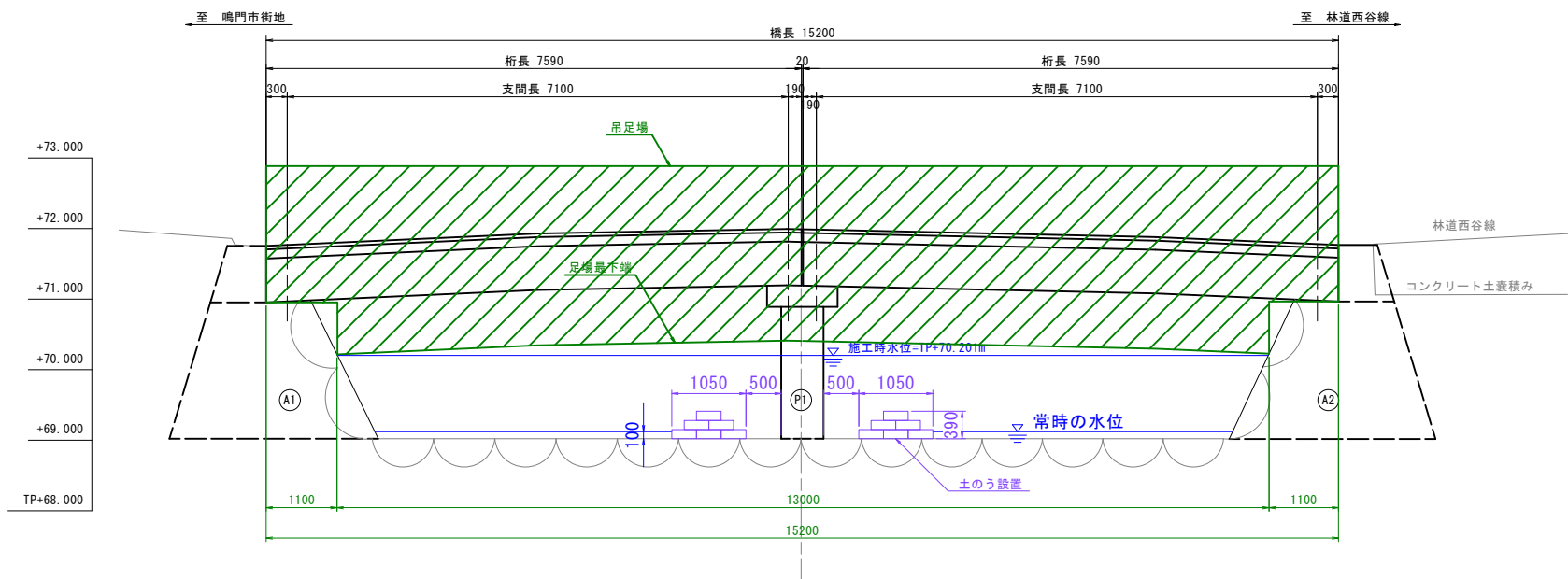
P1橋脚正面図



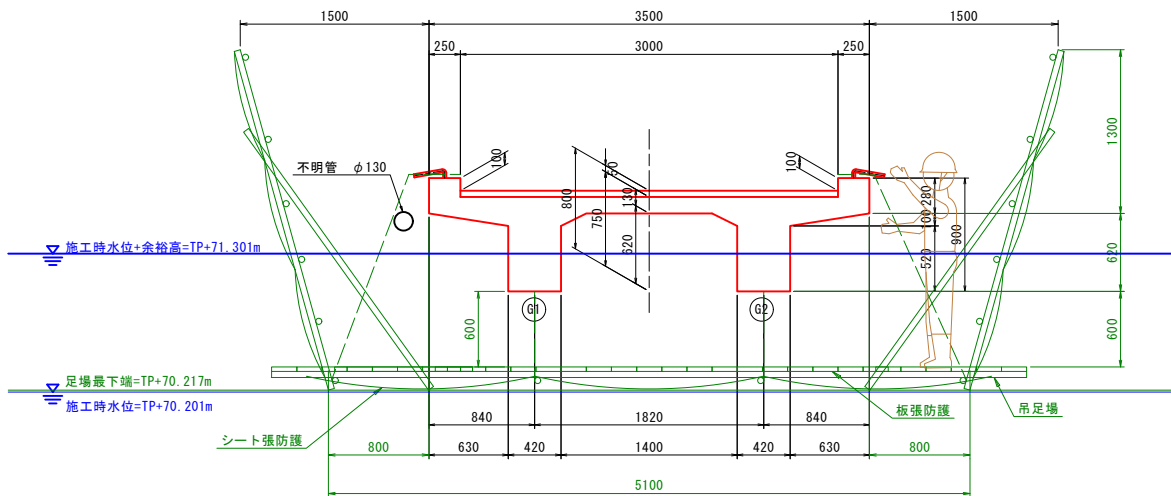
図面番号	第 14 号		図面総数	第 15 葉		
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事					
図名	添架物撤去詳細図					
作成年月日	令和 6 年 7 月		所属年度		令和 6 年度	
係員	課長	副課長	係長	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課						

施工要領図 S=1:50

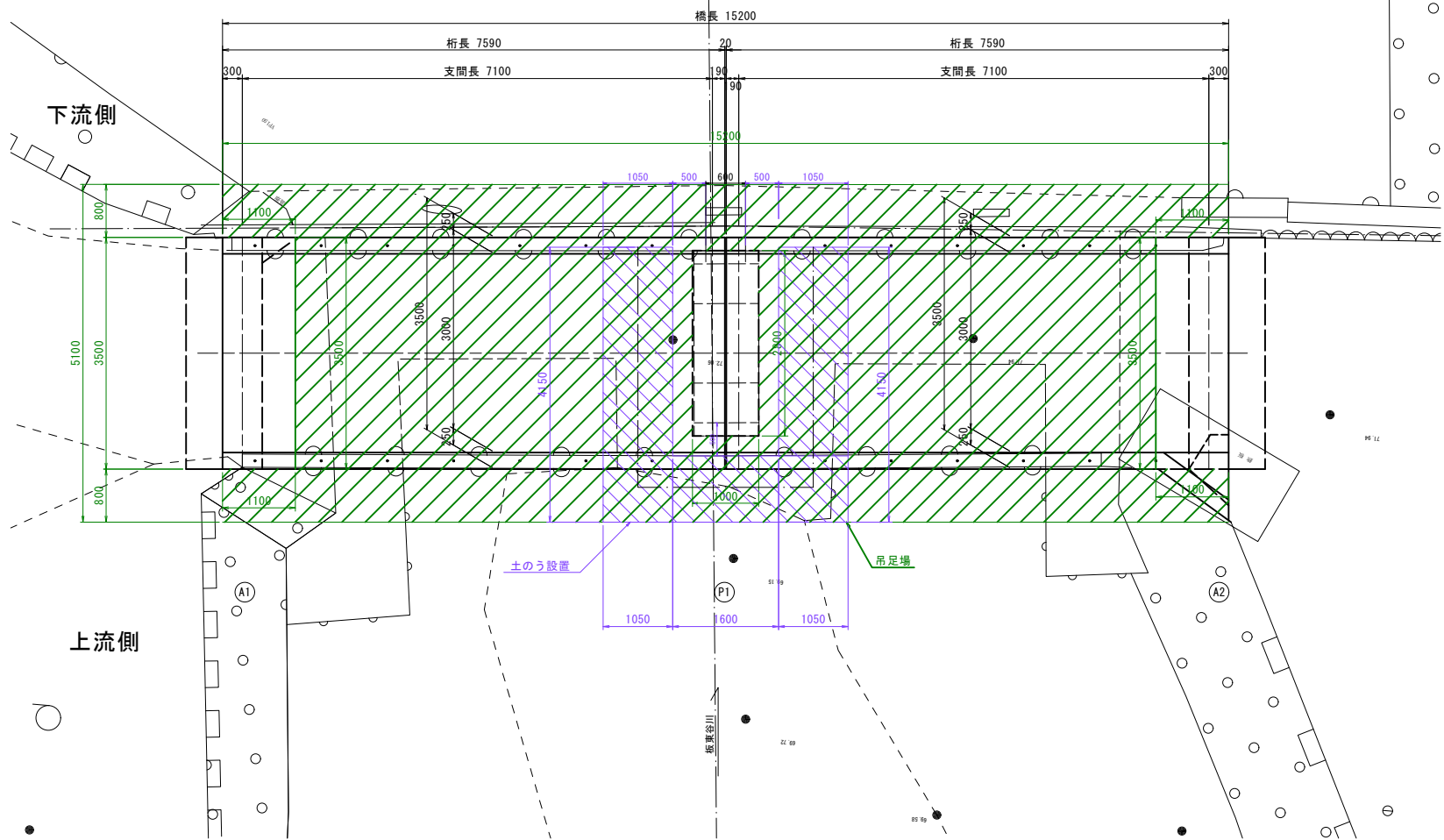
側面図



断面図 S=1:30

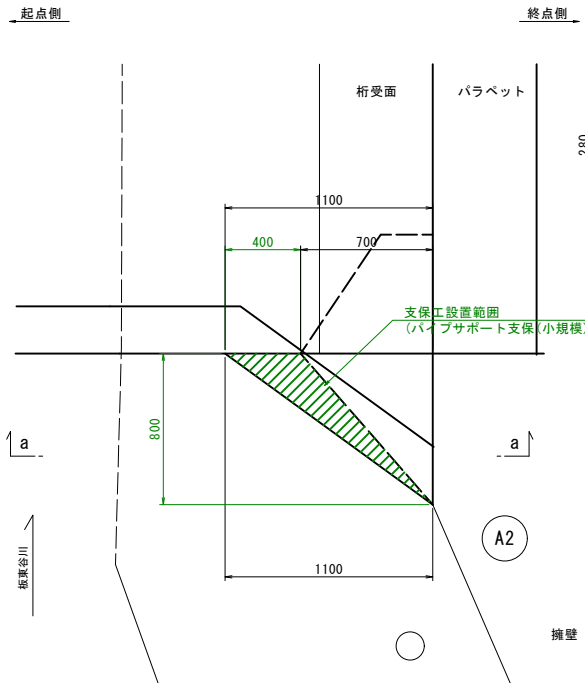


平面図

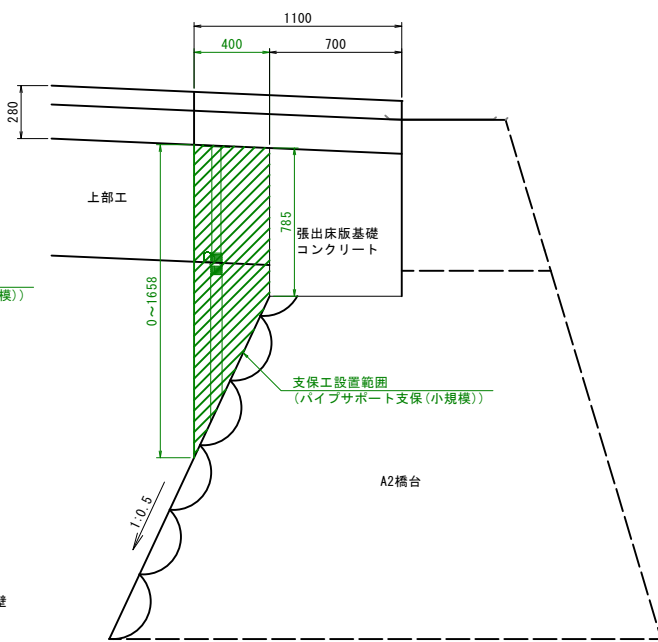


支保工要領図 S=1:20

平面図



a-a断面図



※吊り足場は施工時水位より上に設置すること。
※足場設置高さは、現場の状況、施工性にに応じて、適宜決定を行うこと。
※吊り足場は、タイプA1を設置する。
※作業中に交差河川へ殻や作業道具が落下しないよう、朝顔を設置する。
※補修方法については、各補修詳細図を参照のこと。
※土のう設置範囲内での作業時に水位上昇が確認された場合、路面へ待避すること。

図面番号	第 15 号	図面総数	第 15 葉
図面名称	林道西谷線 1 号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図		
作成年月日	令和 6 年 7 月	所属年度	令和 6 年度
係員	課長	副課長	係長
	設計	製図	照査
鳴門市 産業振興部 農林水産課			